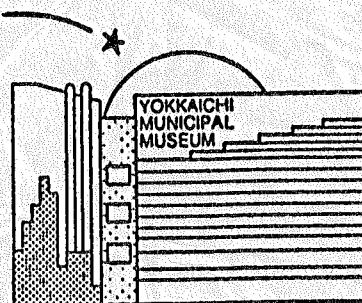


平成8年度

■ 年 報 ■

第4号



四日市市立博物館

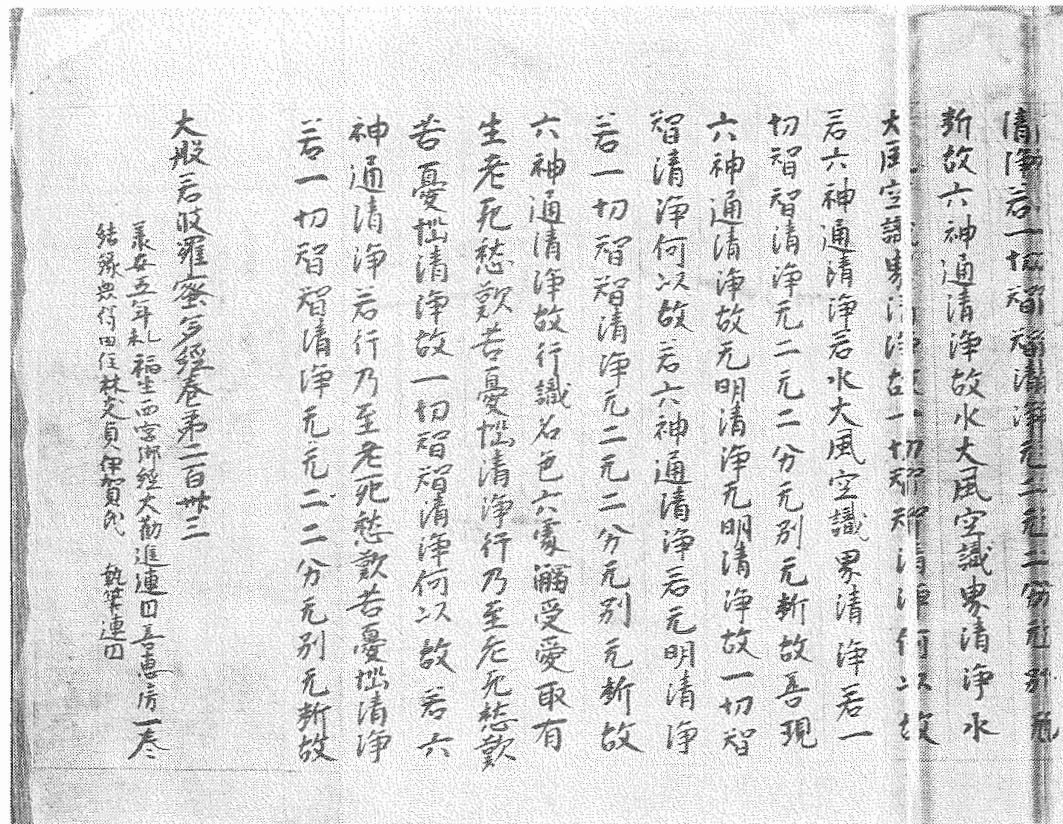
四日市市民憲章

私たちの四日市は、西に鈴鹿山脈、東に伊勢湾を望むすばらしい自然に恵まれ、古くから「市」が開かれたまちとして、また、東海道の宿場として栄えてきました。この自然と歴史のうえに近代産業が開花し、世界に広がる港とともに、明日に向かって躍進する都市です。

私たちは、四日市市民であることに誇りと責任をもち、豊かな未来と住みよい郷土を築くため、次のことを誓います。

1. 自然を愛し緑と水のきれいなまちをつくります。
1. やさしい心のかよい合う温かいまちをつくります。
1. きまりを守り楽しく明るいまちをつくります。
1. 伝統を生かし文化の香りのたかいまちをつくります。
1. 産業を育て活気あふれるまちをつくります。

(昭和57年8月1日制定)



「稻生西宮經」

縦24.8cm 折幅11.2cm 全長918.2 cm

伊勢国稻生西宮（現在の鈴鹿市伊奈富神社）に奉納された大般若經。もと600巻であったものとみられるが、明治の神仏分離によって神宮寺（鈴鹿市）へと移され、その後、漸次流れたものとみられる。

本資料は、善恵房連円が勧進して大般若經を書写したり、ほかの僧に写経させるなどして縁故者を募ったもののひとつで、卷第二百卅三。連円が承安五年（1175）にみずから執筆して、得田（鈴鹿市徳田）住の「林友貞伊賀氏」が奉納したものである。

平安末期の伊勢国の神仏習合事例としてたいへんに重要な資料であるとともに、勧進僧の活動の実体を知る上からも貴重である。

年報発刊にあたって

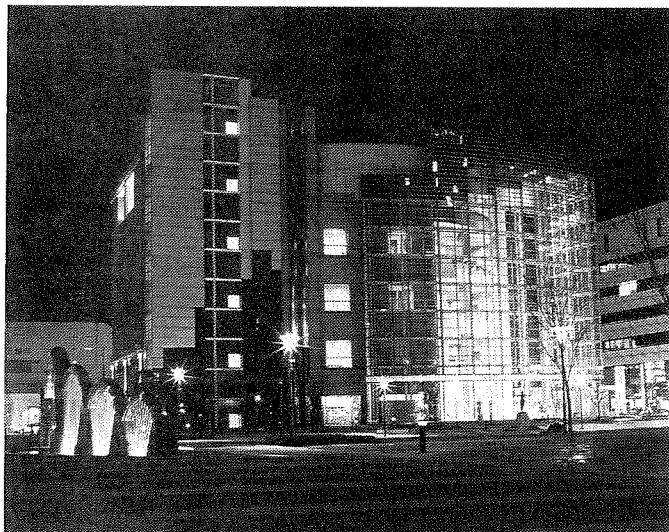
平成 8 年度は、6 月に「公害の歴史～公害の街から環境の街へ～」を開催し多くの反響を得ました。また、夏休み期間には大人から子供まで楽しめるユーモアたっぷりな「ロンドンからくり工房展」、秋には 20 年に一度行われる伊勢神宮の式年遷宮にともなってその度ごとに新造される調度類についての特別展「神宝の美」、そしてお母さんや子どもさんにご好評だった「'96 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」など、特別展 1 回と 6 回の企画展を開催し、無事終了することができました。

また、館員を中心とした月に一度の月例土曜講演会も昨年度に引き続いておこないました。今年度は通年で 12 回開催し、気軽に参加できる講演会として次第に定着してきたように思われます。

夏より導入いたしました移動天文車“きらら号”も説明会から多くの方々にお集まりいただき、大きな手応えを感じました。当初より、多くのお申込みやお問い合わせをいただき、順調なすべり出しができました。7 月から 3 月までの期間で 5,800 人あまりの方に星空の観望を楽しんでいただくことができました。このような観望をはじめて体験される方の中には、たいへんに感動される方もおられ、私どもとしても、大いによろこびとするところでした。

また、8 年度～9 年度には(財)日本博物館協会の近畿支部長館をつとめさせていただくことになり、10 月 23・24 日には支部総会を無事終えることができました。

当館では、今後ともさまざまな活動を積極的におこなって、この地域はもちろんのこと、全国に向けて文化・情報の発信ができるよう努力していくたいと考えております。是非とも各方面からのご支援を賜りたくお願い申し上げます。



平成 9 年 7 月
四日市市立博物館

目 次

館藏資料紹介 III

年報発刊にあたって

目次

I. 事業概要

1. 常設展示	1
2. 特別展等展示	3
3. 教育普及活動	10
4. 資料収集保存活動	18
5. 調査研究活動	26
6. プラネタリウム事業	28

II. 管理・運営

1. 組織	33
2. 予算	34
3. 博物館協議会	35
4. 利用状況	36
5. 関係法規	39

III. 施設概要	42
-----------	----

IV. 利用案内	45
----------	----

V. 博物館日誌抄	46
-----------	----

I. 事業概要

1. 常設展示

当館の常設展示は、「伊勢湾（うみ）と鈴鹿山脈（やま）のある四日市の文化と生活環境」を基本テーマとしている。地質時代から現代までの四日市および北勢地域のあゆみを、6つのコーナーに分け、その時代を特色付ける内容を、大テーマと小テーマとによって構成し解説する。

■ テーマ1 北勢地域のおいたちと自然環境

四日市は東の伊勢湾から西の鈴鹿山脈まで標高差1,200mに及び、その間に多様な自然環境が形成され、動植物も豊富である。御在所岳を中心としたニホンカモシカの生息地であり、また市内にはシデコブシやイヌナシ・アイナシの自生地、大池沼澤など貴重な自然環境がのこされている。

■ テーマ2 原始・古代の人びとの生活

四日市市域でも旧石器時代より人びとの暮らしが営まれていたことが知られている。また、文献資料にもとづく英雄（ヤマトタケル）伝承や壬申の乱の伝承地なども存在し、市域の歴史を語る重要な要素となっている。

■ テーマ3 四日市と四日市庭浦の成立

四日市の地名の語源となった「四」のつく日の定期市の存在が知られる最初は、文明5年（1473）にさかのぼる。多くの武士が割拠し、鈴鹿山脈を越えおおくの商人（近江商人）たちも往来してさかんに交易をおこなった。

■ テーマ4 東海道と伊勢参宮道の賑わい

四日市には東海道の43番目の宿駅が設定され、富田と日永は間の宿（あいのしゅく）、市域南部には東海道と伊勢参宮道の交叉する日永の追分があり、往来する人びとで賑わっていた。また、廻船も四日市湊と熱田の宮をむすび（十里の渡し）、湊は物資の集散地として栄えた。

■ テーマ5 四日市港と近代産業の発展

明治以降も、四日市は陸海の交通の要地として栄えていた。市域でも近代産業がいち早くとり入れられ、また港や鉄道の整備などその基盤整備が進められた。ここに至って四日市は中世の市場から近代の産業都市としての変貌を遂げた。

■ テーマ6 戦災からの復興と都市の創造

四日市は太平洋戦争末期、9度に及ぶ空襲を受け、市街地や港湾部の工業地帯は潰滅的な打撃を受けた。戦後、特定重要港湾四日市港を中心としてわが国有数の石油化学コンビナートが形成され、日本経済の戦後復興を支える重要な役割を果たした。その一方公害問題も発生し、改善のために大きな努力と時間を費やすこととなった。現在、その経験を活かし豊かなまちづくりが進められている。

■ サルビアシアター

12面のマルチスクリーンを駆使して四日市を中心とした地域の現在までのあゆみを常設展示の内容に沿って紹介する。また、12面の画面をフル活用してハイビジョン番組を、当館のオリジナル番組を含めて定期的に入れ換えて上映している。

■ コーナー展示

〈四日市祭り〉

東海地方でも有数の祭りに数えられた戦前の四日市祭りの様子を貴重な映像や、代表的な山車の復元模型で紹介している。

〈浮世絵の四日市〉

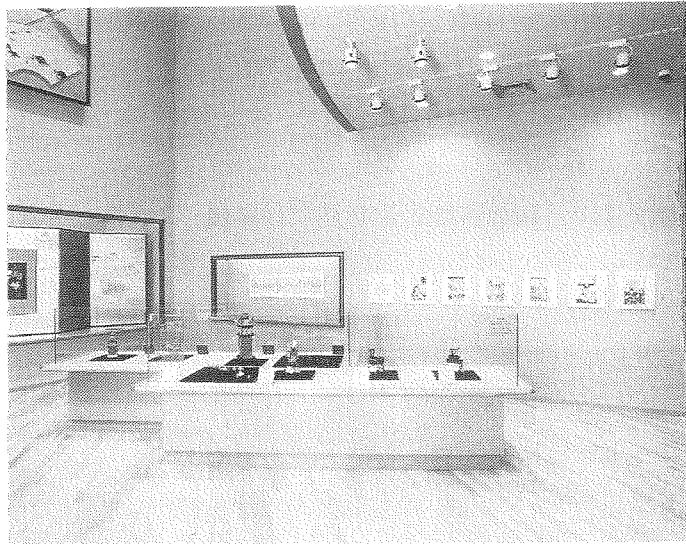
四日市市内には「日永の追分」や「富田」等、歌川広重等によって描かれている。コーナー展示では、その代表的な作品を取り上げて紹介している。

●平成8年度常設展示

開館日数 307日

観覧者数 30,359名

観 覧 料	一 般	210円
	高・大学生	150円
	小・中学生	100円



〈コーナー展示全景〉

2. 特別展等展示

本年度は、第1回の「館蔵品展」よりはじめて、「公害の歴史～公害の街から環境の街へ～」・「神宝の美」・「ふるさとの絵図～失われた風景をもとめて～」等手作りによる自前の展覧会を数多く開催した。また、「ロンドンからくり工房展」や「'96イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」といった多くの方々に楽しんでいただけたユニークな展覧会等も開催した。

(1) 企画展 I 「第1回 館蔵品展」

●平成5年11月に博物館が開館して3年目を迎える、これまで博物館の基本的な活動のひとつとして、市民のみなさまのご協力をいただきながら、貴重な資料を蒐集してきた。本展覧会では、博物館が購入した資料をはじめとして、みなさまよりご寄贈・ご寄託いただいた資料の中からその一部を開示した。

●期間：平成8年4月20日(土)～5月12日(日)

●観覧料：一般 210円 高・大学生 150円 小・中学生 100円

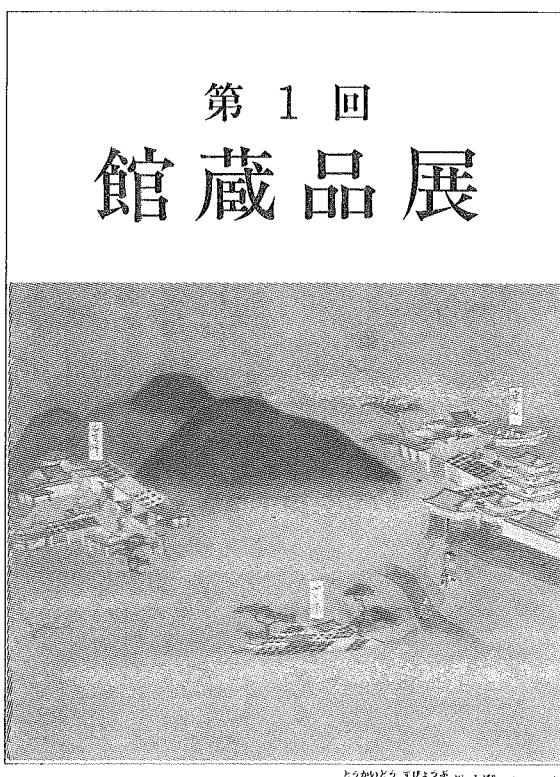
●入場者数：1,684名

●主な展示品

- ・東海道図屏風押絵貼
- ・東海道図屏風
- ・引札
- ・鈴木製薬所看板
- ・硬骨魚（化石）
- ・伊勢街道施行の概略
- ・赤絵盛蓋瓶（古萬古）
- ・尾張団平船模型（1／10）
- ・大膳寺趾出土瓦
- ・版画 W o m e n（木下富雄作）
- ・油彩 童女（柴田又太郎作）

●担当者の所感（学芸員 田中 伸一・中野 千幸）

今回の展覧会は、博物館の収蔵品のみを公開した初めての試みであり、博物館が担う本来の展示公開を実践した点で意義のあるものであったと考える。今後とも、地域の特性をふまえた上での資料蒐集に力を入れ、収蔵資料の充実を心掛け、このような試みをさらに増やしていく必要性を感じた。



とうかいどう すりょうば 附表題 (部分)
東海道図屏風押絵貼 (部分)

(2) 企画展Ⅱ 「公害の歴史～公害の街から環境の街へ～」

●「四日市公害」の歴史・事実経過を追う展示。

●期間：平成8年6月21日(金)～7月21日(日)

●観覧料：一般 210円 高・大学生 150円 小・中学生 100円

●関連事業

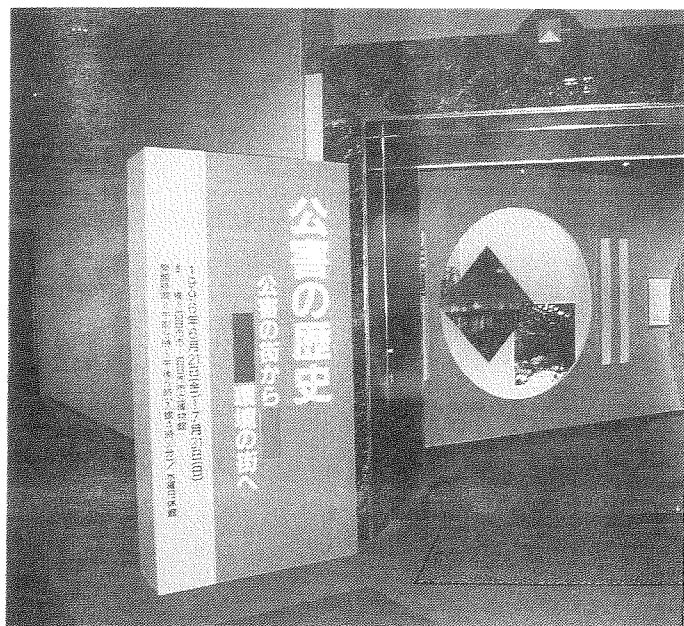
・講演会 「四日市公害を顧みて」 吉田 克己 氏

6月23日(日) 午後2時～3時30分 1F講座室

・講演会 「四日市公害と裁判」 野田 之一 氏

6月23日(日) 午後2時～3時30分 1F講座室

●入場者数：3,277人



●担当者の所感（企画普及係長 兼学芸員 東條 寛）

今回の展覧会は、博物館の開館時点から博物館としても何らかの展示の必要性が考えられてきたものである。今回このような形での展示がなされたことは、時間経過の中ですでに風化しつつある事象についても新たに思いを致すきっかけとなったのではないだろうか。ややもすると忘れてしまいがちになるこういった問題をはっきりと意識することによって今後の環境問題への指針とすべきであろう。ただ、内容が公害問題ということで、形ある展示物が限られたことは展示という観点からすると平板となり、残念であった。

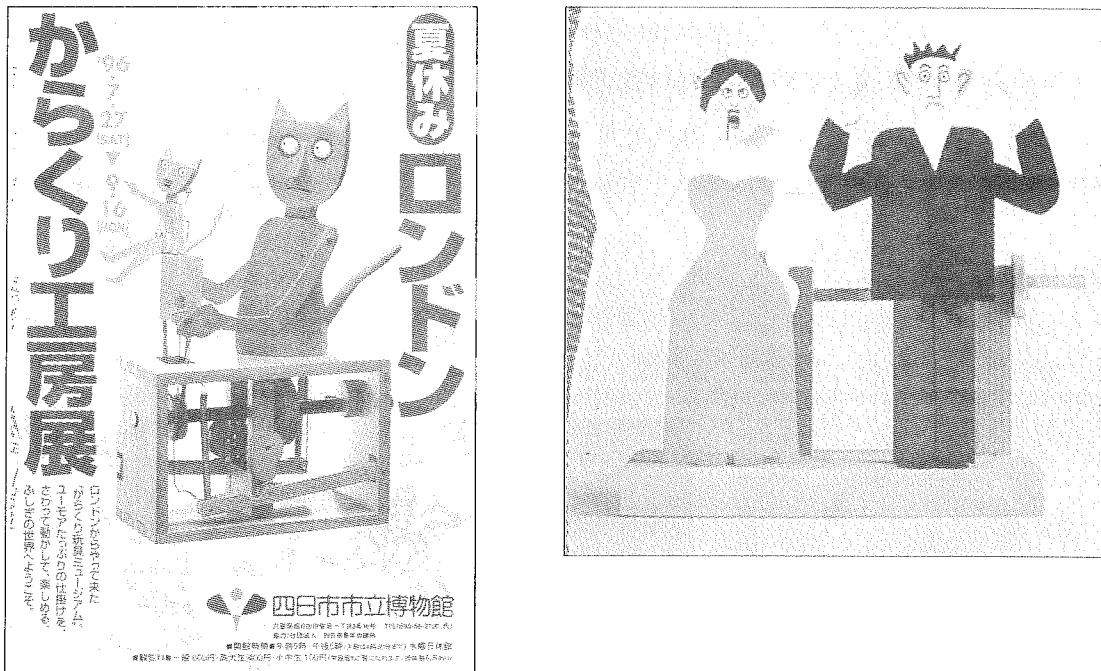
(3) 企画展Ⅲ 「ロンドンからくり工房展」

●ロンドンからやって来た“からくり玩具ミュージアム”。ユーモアたっぷりの仕掛けをさわって動かして、楽しめる展覧会。

●期間：平成8年7月27日(土)～9月16日(月)

●観覧料：一般 600円 高・大学生 400円 小・中学生 100円

●入場者数：13,539人



●担当者の所感（主事 上杉 達也）

本展覧会は、何と言っても、展示物が直接さわって動かせるという点が魅力であったと思われる。期間が夏休み中ということもあって、子どもから大人まで幅広い年齢層の方に楽しんでいただけたものと自負している。ただ、反省点としては展示台に角張った箇所があったことや、高さが場合によっては子どもには高すぎた所もあったことがあげられるであろう。

(4) 特別展 「神宝の美」

●伊勢神宮では20年に一度「式年遷宮」が行われ、新しい社殿が造られる。その際には、神々の衣服や調度品など約1,600点が伝統技法に従って調進される。本展覧会は、それらの中から代表的な神宝約100点を展示した。

●期間：平成8年9月29日(日)正午～11月11日(月)

●観覧料：一般 900円 高・大学生 600円 小・中学生 100円

●関連行事

- 講演会 「神々の装い～御装束と御神宝～」 神宮司庁神宝装束部長 神原 佑司 氏
10月6日(日) 午後2時～4時 1F講座室
- 講演会 「式年遷宮と神宝」 国学院大学教授 中西 正幸 氏
6月23日(日) 午後2時～4時 1F講座室

●入場者数：5,468名

●主な展示品

- 玉纏御太刀(たままきのおんたち)
- 吾錦御衣(くれにしきのみぞ)
- 縹緗錦御衣(うんげんにしきのみも)
- 御櫛笥(おんくしげ)
- 鶴斑毛御彫馬(つるふちげのおんえりうま)



●担当者の所感（学芸員 秦 昌弘）

伊勢神宮では、現在「神宝」の貸出しはその性格からして一切許可されていないが、今回は「御鎮座二千年」記念行事の一環として位置づけられたことにより可能となった。式年遷宮にともなって伝統技法のままに調進される神宝を通して、伝統美の再認識と、日々変化し多様化しつづける生活様式の中で失われていくこれらの技術の“継承”ということにもあらためて意識を向ける必要性を痛切に感じた。また、今回の展覧会の来館者の傾向の中で特徴的であったのは、外国人の来館者がほかの展覧会に比して多かったことがあげられるであろう。

(5) 企画展IV 「'96イタリアボローニャ国際絵本原画展」

●毎年ボローニャ児童図書展で開催されている絵本原画の公募展の入選作から約400点に加えて、今回がこの公募展の30周年となるためその記念として世界的なイラストレーター30人に「秘密の庭」というテーマで募集した30点と、ジョン・ロウの作品40点も同時に展示した。

●期間：平成8年11月21日(木)～12月15日(日)

●観覧料：一般 600円 高・大学生 400円 小・中学生 100円

●関連行事

・おもしろトーク「絵本のおはなし」 絵本作家：荒井 良二 氏 + 飯野 和好 氏
司会：増田 喜昭 氏

11月24日(日) 午前10時30分～12時 1F講座室

・ワークショップ「とびだすカードをつくろう！」

12月1日(日) 午後2時～4時 1F講座室

●入場者数：4,636名



●担当者の所感（学芸員 田中 伸一）

今回の展覧会では、通常博物館事業などにはあまり関心を示さない高校生・大学生の割合が比較的多かったことも特徴と思われる。展示期間が短かったに比しては、来館者数が多かったことは注意すべきことであろう。また、平日の入館者数が多かったことは、一般に女性の関心が高かったということのあらわれであろう。

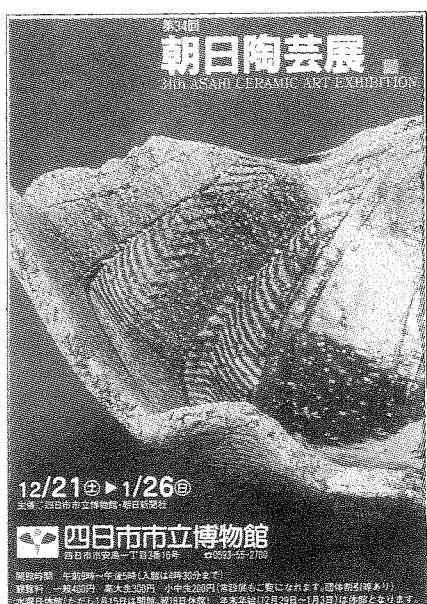
(6) 企画展V 「第3・4回朝日陶芸展」

●昭和38年に始まり、今回で34回を数える現代陶芸の公募展。今年は、全国41の都道府県から過去最多の645点の応募があり、その中から入賞作品9点と入選作品100点が選ばれた。

●期間：平成8年12月21日(土)～平成9年1月26日(日)

●観覧料：一般 400円 高・大学生 300円 小・中学生 100円

●入場者：1,702名



●担当者の所感（企画普及係長 東條 寛）

入館者数については、前回の第33回朝日陶芸展に比しても下回ってしまった。広報については今回はじめて三交バスの社内吊りを利用したり、朝日新聞でも三重版に県内の入賞者の紹介を載せるなど工夫をした。ほかにもPRについて工夫の方法はありえるであろうが、基本的にこの展覧会が名古屋発の展覧会であり、先に名古屋で無料で開催されている展覧会であることを考えると無理もないことかと考える。今後この展覧会のあり方については充分検討をしていく必要があると思う。

(7) 企画展V 「ふるさとの絵図～失われた風景をもとめて～」

●絵図は、現在では見ることのできなくなった風景を教えてくれる。その土地の歴史を物語る貴重な資料である。この展覧会は絵図そのものの持つ魅力と、絵図から江戸時代の四日市の姿を読み取ろうとするものである。

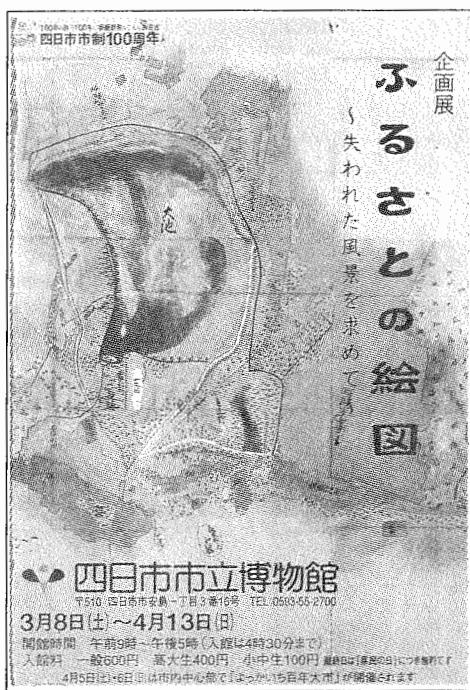
●期間：平成9年3月8日(土)～4月13日(日)

●観覧料：一般 600円 高・大学生 400円 小・中学生 100円

●入場者数：1,439名

●関連事業

・講演会 「失われた景観を探る」 当館学芸員 廣瀬 肅
3月30日(日) 午後2時～4時 1F講座室



●担当者の所感（学芸員 廣瀬 肅）

今回は、この地域の資料を中心とした初めての歴史物の展覧会であった。入館者数はあまり伸びなかつたが、来館者は大きな絵図を見て驚いたり、地元の絵図を熱心に見入るなど概ね好評であった。反省点としては、絵図のみの展示となつたために、展示が全般に平板となつたことがあげられるであろう。今後の参考にしていきたいと考える。

3. 教育普及活動

博物館の重要な機能のひとつとして、展示公開や調査研究と並んで教育普及があげられる。当館では、市民の学習意欲を向上させていくことも当館に課せられた重要な任務のひとつと位置づけ、力を入れてきている。市民により親しみをもって学習し得る機会と場所とを提供するため、各種の教育普及事業を企画しており、各種の事業に対する固定層の増加を図るとともに、新たな層をもターゲットにするような企画を、今後とも計画していきたいと考えている。また、本年度より正式登録を済ませ、活動を開始した博物館の解説ボランティアも、生涯学習の一環として位置づけ各展覧会ごとに活動するとともに、館の活性化と来館車へのサービスの向上の面にも寄与している。

(1) 開館3周年記念講演会

○平成8年11月1日(金) 18:30 ~ 20:00

じばさん三重 6Fホール

「歴史を彩る三重の人びと～芭蕉・宣長・光太夫～」

講 師：岸 宏子 氏（作家）

受講者：250名（満席）

(2) 月例土曜講演会

○第1回

平成8年4月20日(土) 14:00~15:30

テーマ 「郷土および庶民の文化遺産～力石～」

講 師 四日市大学教授 高島 憲助

受講者 55名

○第2回

平成8年5月18日(土) 14:00~15:30

テーマ 「関西鉄道の軌跡」

講 師 学芸員 廣瀬 穎

受講者 80名

○第3回

平成8年6月15日(土) 14:00~15:30

テーマ 「銅鐸の変遷をめぐる考え方」

講 師 学芸員 中野 千幸

受講者 74名

○第4回

平成8年7月20日(土) 14:00~15:30

テーマ 「歴史にみる『遊び』」

講 師 当館顧問（奈良大学学長） 水野 正好

受講者 62名

○第5回

平成8年8月17日(土) 14:00~15:30

テーマ 「宇宙を観る～天体望遠鏡のはなし～」

講 師 天文係館付主幹 鈴木 晴美

受講者 36名

○第6回

平成8年9月21日(土) 14:00~15:30

テーマ 「多度神宮寺と資財帳」

講 師 主幹兼学芸員 堀越 光信

受講者 58名

○第7回

平成8年10月19日(土) 14:00~15:30

テーマ 「尾張の古代寺院～伊勢から尾張を見る～」

講 師 東海学園女子短期大学教授 岩野 見司

受講者 66名

○第8回

平成8年11月16日(土) 14:00~15:30

テーマ 「仏教思想の受容について～特に飛鳥奈良時代～」

講 師 学芸員 田中 伸一

受講者 49名

○第9回

平成8年12月21日(土) 14:00~15:30

テーマ 「石炭と石油」

講 師 学芸員 森 昭宏

受講者 34名

○第10回

平成9年1月18日(土) 14:00~15:30

テーマ 「歳(とし)のまつり」

講 師 学芸員 秦 昌弘

受講者 37名

○第11回

平成9年2月15日(土) 14:00~15:30

テーマ 「斎宮と伊勢神宮」

講 師 館長(関西大学教授) 上井 久義

受講者 48名

○第12回

平成9年3月15日(土) 14:00~15:30

テーマ 「中世宮座の世界～トウヤ儀礼と芸能～」

講 師 企画普及係長兼学芸員 東條 寛

受講者 41名

(3) 博物館教室

テーマを決めた教室形式で行う講座。今年度も、昨年と同様に各種の講座を用意して、市民の幅広いニーズに対応することとした。

○教室名 「壬申紀を読む“再”～『日本書紀』にみる壬申の乱～」

昨年度、同様の講座を設けた結果、たいへんに好評で受講出来なかつた人が多かつたため、再度同じ講座を設けた。内容は、大化の革新を遂行し、律令国家の礎を築いた天智天皇の亡きあとに、皇太子であった弟大海人皇子と太政大臣であった息子大友皇子との間に起こつた古代の大乱、壬申の乱について『日本書紀』の原文を読みながら、その経緯や乱の経路・経過をわかりやすく学ぼうとする講読形式の教室。

平成8年5月14日・28日、6月11日・25日、7月9日・23日の計6回開催。

受講者 22名

講 師 主幹兼学芸員 堀越 光信

○教室名 「柳田国男を読む～柳田民俗学の世界～」

日本民俗学の父と呼ばれる柳田国男の著作を通じて民俗学の世界を垣間みることを目的とした教室。

平成8年10月8日・22日、11月5日・19日の計4回開催。

受講者 32名

講 師 企画普及係長兼学芸員 東條 寛

○教室名 「飛鳥時代を掘る～飛鳥時代の考古学～」

考古学の入門教室として開催した。飛鳥時代を中心として高松塚古墳や藤の木古墳の話など初心者にも分かりやすく興味の持ちやすい内容のものとした。

平成9年1月7日・21日、2月4日・18日、3月4日・18日の計6回開催。

受講者 80名

講 師 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館主任学芸員 林部 均

○教室名 「古文書教室 第4期」

古文書の読解の入門教室として開催。むずかしいと思われるがちな古文書の文字に慣れることを目的に経験の有無を問わず、くずし字に興味があり「読んでみたい」という人の気持ちに応える教室。

平成8年5月9日・23日、6月13日・27日、7月11日・25日、8月8日・22日、
9月12日・26日の計10回開催。

受講者 15名

講 師 学芸員 廣瀬 育

○教室名 「古文書実習 前期 第2・3期」

古文書教室の受講を終えた人で、さらに古文書の勉強を続けたいという人達の思いに応えて開催した教室。

平成8年5月10日・24日、6月14日・28日、7月12日・26日、8月9日・23日、
9月13日・27日の計10回開催。

参加者 31名

講 師 学芸員 廣瀬 育

○教室名 「古文書実習 後期 第3・4期」

前期と同様に、古文書教室の受講を終えた人で、さらに古文書の勉強を続けたいという人達の思いに応えて開催した教室。

平成8年11月8日・29日、12月3日・27日、平成9年1月10日・24日、
2月14日・28日、3月14日・28日の計10回開催。

受講者 29名

講 師 学芸員 廣瀬 育

○教室名 「参宮道を歩こう!!」

江戸時代、多くの参宮者で賑わった参宮街道。昨年の東海道に続き今年はこの参宮街道を、日永の追分を出発点として内宮までの間、約70kmを5回に分けて歩いた。

・説明会	5月19日	博物館1F講座室	37名
・第1回	5月26日	日永追分～白子 約14km	43名
・第2回	6月23日	白子～津 約14km	44名
・第3回	7月28日	津～六軒 約15km	38名
・第4回	9月1日	六軒～斎宮 約15km	19名
・第5回	9月29日	斎宮～内宮 約16km	31名

担当 学芸員 廣瀬 毅・森 昭宏・田中 伸一 主事 上杉 達也

(4) 博物館実習

博物館学芸員資格に必要な博物館実習課程履修のため、各大学から要請のあった実習生の受入れを実施し、博物館の実務を実習させた。

○7月23日(火)～26日(金) 9:00～16:10

受入れ実習生 14名

三重大学	6名	皇学館大学	2名
愛知学院大学	2名	東海女子大学	2名
愛知大学	1名	山口大学	1名

日 程

	9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10
23日 (火)	学芸員論（館長） ※副館長挨拶	文化財保護法について	施設見学	教育普及活動および博物館における広報活動
24日 (水)	美術工芸資料の収集と整理及び取扱い	美術工芸資料の収集と整理及び取扱い	展示のための移動に伴う資料の取扱い方法	展示のための移動に伴う資料の取扱い方法
25日 (木)	自然資料の収集と整理及び取扱い	歴史資料の収集と整理及び取扱い	民俗資料の収集と整理及び取扱い	民俗資料の収集と整理及び取扱い
26日 (金)	考古資料の収集と整理及び取扱い	展示解説実習 写真撮影講習	討論	レポート作成

(5) 三重県移動博物館

主催：三重県博物館協会

多気町

多気町教育委員会

後援：三重県教育委員会

期間：11月23日(土)～11月25日(月)

場所：多気町農業者トレーニングセンター

出品資料：四日市港のあゆみを示す資料及びパネル写真など

(6) 解説ボランティア

昨年度と同様に各展覧会ごとに、事前研修資料を送付し事前研修を実施したが、加えてボランティア各自が個々に学習し、互いに補完し合うといった広がりも見えてきている。

- ・館蔵品展

延べ143名参加

- ・公害の歴史

延べ166名参加

- ・ロンドンからくり工房展

延べ239名参加

- ・神宝の歴史

延べ233名参加

- ・イタリア ボローニャ国際絵本原画展

延べ144名参加

- ・第34回朝日陶芸展

延べ163名参加

- ・ふるさとの絵図

延べ146名参加

計 1, 109名

(7) 入館者調査

今後の博物館運営等に資するため、各企画展・特別展ごとに「入館者アンケート」を実施し、入館者の情報分析を行い、利用する立場からの意見を聴取した。

(8) 講師等派遣活動

地区市民センター等館外で行われる講演会等への講師派遣については、博物館活動と市民の学習意欲とのパイプ役として、積極的に対応することとした。

・企画普及係長（学芸員）東條 寛 関西大学非常勤講師（民俗）

桑名市「史跡ボランティア」要請講座講師

・主幹（学芸員） 堀越 光信 松阪大学非常勤講師（歴史）

・学芸員	廣瀬 毅	桑名市「史跡ボランティア」要請講座講師 地区市民センター（羽津）講師 あじさい会研修会講師 みえアートカレッジ講師
------	------	--

(9) 広報活動

企画展をはじめとする各事業の広報は、市広報はもちろんのこと「博物館ニュース」の発行や、タウン誌、各報道機関への情報提供（記者発表・資料提供）、社会教育・学校教育機関、地区市民センターその他公共施設及び商業施設へのポスター・チラシの配付・掲示を中心に行ってきました。また、事業や行事に応じた広報のあり方も念頭において効果的な活動を心掛けるようにした。

○博物館ニュースの発行

5回 A4 4P 各 1,000部

(10) 施設の利用

当館の施設の利用については、四日市市立博物館条例第5条により特別展示室及び講座室について博物館の設置目的に反しない、博物館事業に支障がないもので、市民の教育・学術及び文化の発展に寄与するものについて、商業宣伝・営業またはこれに類する目的以外の使用にその利用を許可している。また、無料利用できる空間である1Fエントランスホールについても、できるかぎり市民に開放する方向で対応していくものとして考えている。8年度の利用実績は次のとおりであった。

〔特別展示室〕

- ・平成8年5月16日(木)～19日(日) 「書道展」
主催：墨友会
- ・平成8年6月6日(木)～16日(日) 「UNEP写真展」
主催：UNEP
- ・平成8年9月18日(木)～24日(火) 「三重のかたち展」
主催：三重県美術工芸連絡協議会
- ・平成8年11月15日(金)～17日(日) 「ちぎり絵展」
主催：和紙ちぎり絵四日市サークル
- ・平成9年2月3日(月)～11日(火) 「北勢高等学校美術展」
主催：三重県高等学校美術・工芸教育研究会・北勢支部
- ・平成9年2月22日(土)～3月4日(火) 「一いま、郷土に帰る— 三輪勇之助遺作展」
主催：財岡田文化財団・三重県立美術館。
中日新聞社・東海テレビ放送

〔講座室〕

- ・平成8年4月15日(月)～平成9年3月10日(月) 計12回
主催：映画サークル「あそん」
- ・平成8年5月2日(木)～11月4日 「研修会」 計2回

主催：あじさい会

- 平成8年5月25日(土)～平成9年3月22日(土) 計6回

主催：歴史ゼミナール四日市

- 平成8年8月27日(火) 「三重県センター博物館(仮称)説明会」

主催：三重県センター博物館建設準備室

- 平成8年8月31日(土) 「四日市の地名を探る」

主催：財団法人四日市市文化振興財団

- 平成8年9月14日(土)～平成8年10月13日(日) 計5回

主催：三重県美術工芸連絡協議会

- 平成8年11月15日(金) 「環境セミナー全国大会」

主催：㈱東海テクノ

※その他、公的機関の会議等に利用された。また、夏休み期間中などには学生への学習の場として適時開放した。

施設利用料	午前 9:00～12:00	午後 13:00～17:00	全日 9:00～17:00
特別展示室(4F) 595m ²	——	——	30,900円
講 座 室(1F) 142m ²	8,240円	12,360円	20,600円

[1Fエントランスホール]

- 平成8年5月2日(木)～5月7日(火) 「染色教室展」

主催：アトリエ ミチ

- 平成8年5月4日(土)～5月6日(月) 「いけ花の社中展」

主催：財団法人勅使河原和風会三重支部

- 平成9年2月13日(木)～3月4日(火) 「発掘展～よみがえる四日市の歴史～」

主催：四日市市教育委員会文化課

(II) 関連出版物

特別展図録 「神宝の美」	規格外(250mm×240mm) 84P	1,700部	8. 9.28	¥ 1,500
企画展図録 「'96イタリアボローニャ 国際絵本原画展」	変形A4 216P	1,000部	8. 8.10	¥ 2,300

「第3・4回朝日陶芸展」	A4	74P	350部	8. 9.10	¥ 2,000
「ふるさとの絵図 ～失われた風景を求めて～」	A4横	72P	1,500部	9. 3. 8	¥ 1,000
その他					
「館蔵品展目録」	A4	8P	2,000部	8. 4. 1	—
「四日市公告の歴史」	A4	4P	3,000部	8. 6. 21	—
研究紀要 第4号	A4	100P	700部	9. 3. 31	¥ 500
年報 第3号	A4	60P	500部	8. 7. 31	—

4. 資料収集保存活動

博物館の諸活動の最も基本となる活動として、各種資料の購入及び収集の充実を図り、その保存に努めた。

なお、資料収拾上の専門事項について審議または、指導・助言を行うため、「資料委員会」を設置している。

(1) 資料委員会の開催

○博物館資料委員会

開催日：平成9年1月20日(月)

議題：8年度の資料収集について

9年度の資料収集方針について

〔四日市市立博物館資料委員会委員〕

○委員長 ○副委員長（順不同・敬称略）平成9年3月1日末現在

○上野秀治	歴史	皇学館大学文学部教授
山沢義貴	考古	三重県埋蔵文化財センター次長
○毛利伊知郎	絵画	三重県立美術館学芸課長
井上喜久男	工芸	愛知県陶磁資料館主任学芸員
茅原弘	産業史	日本産業技術史学会会員
市橋甫	自然	日本カモシカセンター
印南敏秀	民俗	愛知大学教養部助教授

(2) 収蔵庫燻蒸 平成8年12月16日～19日

(3) 資料の状況

1 人 文 科 学 資 料	区分	実物	標本	模型 模写
	(1) 古美術	476	4	10
	(2) 近代美術	384	0	0
	(3) 考古学	209	6	18
	(4) 民俗	3,777	0	9
	(5) 民族・人類学	0	0	0
	(6) 歴史	3,198	0	37
	(7) その他	24	4	
	計	8,068	14	
	図書	写真	その他	
	2,044	67	0	

2 自 然 科 学 資 料	区分	実物 (標本)	模型
	(1) 動物資料	0	0
	(2) 植物資料	3,272	0
	(3) 地学資料	93	2
	(4) 理工学資料	0	0
	(5) 天文資料	7	0
	(6) その他	3,198	1
	計	8,068	3
	図書	写真	その他
	177	16	0

(4) 購入資料

資料名・作者等	分野	形状・形態
引札 すずめと貝と暦	歴史	一枚刷
天元養氣圓廣告	歴史	一枚刷
丹羽文雄自筆原稿 岐路	歴史	一括
田村泰次郎原稿 昨今の花々	歴史	一括
稻生西宮経 卷第二百三十三	歴史	折本装
最新精密三重県実測図	歴史	1舗
測量精密三重県管内新地図	歴史	1舗
再版東海道中記	歴史	1冊
改正三重県地図	歴史	1舗
白子幸太夫漂流ノ記	歴史	1冊
伊賀伊勢志摩三重県細見全図	歴史	1舗
参宮旅行地図	歴史	1舗

四日市港平面図	歴史	1 舩
四日市市全図	歴史	1 舩
富樫広蔭短冊	歴史	短冊
橋守部短冊	歴史	短冊
伊勢国大絵図	歴史	1 舩
東海道五十三駅真景	歴史	石版画
関野準一郎 四日市	歴史	版画
岡野石圃作 山水図	美術	紙本墨書
東海道五十三次版画対照写真	歴史	55枚
帆山唯念作 四季草花図巻	美術	絹本着色
伊勢国鈴鹿郡水沢村大久保村訴状等 2通	歴史	訴状等
名古屋東照宮大祭礼御行列全図	歴史	5 帖
諸国道中物（一括）	歴史	19冊
東海道中膝栗毛	歴史	23冊
伊勢暦（一括）	歴史	31冊
伊勢暦	歴史	53冊
尾濃勢国五連見立	歴史	1 枚刷
道中用小物入	歴史	布製
道中用小物入	歴史	布製
紙看板 順和散	歴史	1 枚刷
安永新改諸国道中二面鑑	歴史	1 枚刷
新板江戸道中廻筋名所図絵	歴史	1 枚刷
懷中硯	歴史	木製
紙看板 開達丸・開達散	歴史	1 枚刷
江戸時代の磁石	歴史	木製・円形
街道行程	歴史	1 枚刷

河原田尋常高等小学校教育要覧	歴史	1枚刷
東海道五十三次新撰道中双六	歴史	1舗
伊勢国松阪羽書銀壱匁預	歴史	1枚
伊勢国度会府銀札壱匁預	歴史	1枚
伊勢国山田羽書貳番札壱匁預	歴史	1枚
日本万国博覧会回数入場券	歴史	1綴
関西参宮鉄道案内記	歴史	1冊
増山雪斎作 猛虎図	美術	1幅
風外本高作 山水図	美術	1幅
曾我蕭白作 鐘馗図	美術	1幅
見立番付 摺物コレクション	歴史	1帖
大日本六十余州もち〇名物分限帳	歴史	1冊
諸国海陸道中記	歴史	1冊
東海基礎両道中懐宝図鑑	歴史	1冊
五海道中細見記	歴史	1冊
神都名勝誌	歴史	1冊
東海道中重宝記	歴史	1冊
四日市萬古赤絵瑞祥文花瓶	美術	1個
四日市萬古色絵龍文鉢	美術	1個
四日市萬古色絵梅文鉢	美術	1個
有節萬古家生	美術	1個
三重県案内記	歴史	1冊

(5) 寄贈資料

資料名・作者等	分野	点数(形状・形態)	寄贈者	年月日
同報通信装置(子機)	歴史	1台	(株)日本合成ゴム	H8. 1.31
公害関係資料(運動関係・刊行物・写真)	歴史	一括	伊藤 博	2.13
空気清浄機	歴史	1台	羽津中学校	3.29
三重大学公衆衛生教室旧蔵公害関係資料	歴史	一括	吉田 克己	4. 1
Crassostrea gigas (生桑町産出 マガキ化石)	自然	3点	九鬼 光子	5.13
降下ばいじん・二酸化硫黄測定器	歴史	1式	環境保全課	6. 1
朝日新聞(昭和47年7月24日夕刊)	歴史	1点	柿川 瞳男	6.27
国産振興博覧会記念スタンプ (昭和11年)	歴史	1点	三谷 義彦	7.15
常磐中学校 光化学スモッグ被害調査資料	歴史	1括	桐生 定己	8. 3
遷宮絵葉書	歴史	1点	川喜田 孝	10. 1
みなと四日市(冊子) 昭和11年刊行か	歴史	1点	小河 清角	10. 1
人馬賃錢帳(萬延元年) 御馳走役仰付書 石川家家系図 改正反別地価取調帳 書状 18点 清心流秘伝書(催眠術)	歴史	23点	伊東 いほ	10.15
河村郁雄家資料	歴史	948点	河村 郁雄	11.29

仏典備忘録 上人法語 大福帳 電気スタンド 矢立 3点 キセル(ケース付) ます 菓子鉢(萬古焼) 椀 4点 菓子鉢 丸膳 2点 膳 1点	歴史	18点	清水 博	H9. 1. 8
小杉神社 御鍬	民俗	2点	福山小百合	2.16
椿岸神社 記念祭 御鍬	民俗	1点	椿岸神社	2.16
二万分一地形図 5点 四日市 明治31年 桜町 明治26年 塩浜村 明治26年 若松村 明治26年 白子町 明治26年	歴史	5点	日比 義也	3.11

(6) 寄託資料

資料名・作者等	分野	点数(形状・形態)	寄託者	年月日
鳩山一郎額	歴史	1点	河村 郁雄	H9. 1. 5
紫檀花台	工芸	1点	河村 郁雄	H9. 1. 5
金蒔絵雀竹花生	工芸	1点	河村 郁雄	H9. 1. 5
前後赤壁図	美	1点	河村 郁雄	H9. 1. 5
稻葉家文書	歴史	5箱(813)点	稻葉 元孝	H9. 2.10

(7) 資料貸出

資料名	貸出先	目的	貸出日
「企画展空襲4」ビデオ	山手中学校	授業活用	H8. 4.19
「企画展四日市空襲」ビデオ	山手中学校	授業活用	4.19
保永堂版「四日市三重川」 プリント	中日新聞四日市支局	新聞掲載のため	4.30
『八幡神社祭礼曳山車巡行絵 巻』カラー複数	吹田市立博物館	日本民具学会会報誌『民 具研究』へ掲載	5.10
『津八幡神社祭礼絵巻』 カラー複数	吹田市立博物館	日本民具学会会報誌『民 具研究』へ掲載	5.10
「文明五年官司引付」 カラー複数	株式会社クルーコーポレーション	雑誌掲載のため	5.16
「四日市湊之図」カラー複数	株式会社クルーコーポレーション	雑誌掲載のため	5.16
「稻葉三衛門肖像」カラー複数	株式会社クルーコーポレーション	雑誌掲載のため	5.16
「四日市湊開墾図」	株式会社クルーコーポレーション	雑誌掲載のため	5.16
「明治末期の四日市港」 プリント	株式会社クルーコーポレーション	雑誌掲載のため	5.16
「大正3年の四日市港」 プリント	株式会社クルーコーポレーション	雑誌掲載のため	5.16
「昭和30年代の四日市港」 プリント	株式会社クルーコーポレーション	雑誌掲載のため	5.16
「タイムレコーダー」カラー複数	住友電装株式会社	社内報に掲載のため	5.10
「長崎クンチの練物」カラー複数	長浜市教育委員会	調査報告書へ掲載のため	5.31
「二股大根の出し」カラー複数	長浜市教育委員会	調査報告書へ掲載のため	5.31
保永堂版「四日市」カラー複数	四日市東ロータリークラブ	クラブ会報に掲載のため	6.15
「古萬古」等 36点	四日市市文化振興財團	文化開館常設展示に使用	6.20

「公害ビデオテープ」	中部中学校	授業の教材として	H8. 6.28
「赤堀城跡出土犬形土製品」 2点	第2回みえ県民文化祭文化財部門実行委員会	「三重の新しい文化財の仲間たち展」に展示	7. 1
「公害ビデオテープ」	亀山市立白川小学校	授業の教材として	7. 2
「四日市空襲」パネル 10点	四日市市立神前保育園	園行事に利用	7.11
「古萬古」等 41点	四日市市文化振興財団	文化開館常設展示に使用	9.15
四日市萬古 「色絵福助水注」	財団法人滋賀県陶芸の森	「明治のやきもの」展に展示のため	9.23
『清水本陣資料』 56点	四日市市史編さん室	四日市市史編纂のため	10. 1
「古萬古」等 23点	静岡県掛川市	第50回全国お茶まつり記念大会IN掛川にて展示	10.15
『清水本陣資料』 5点	四日市市史編さん室	四日市市史編纂のため	10.24
「古萬古」等 3点 カラー・ポジ	NHK出版	『日本のやきもの』に掲載のため	10.27
館の外観写真 プリント・カラー・ポジ	株式会社ヂーゼル	「おまかせNAGOYA！1997」に掲載のため	H9. 2. 5
『清水本陣資料』 4点	四日市市史編さん室	四日市市史編纂のため	H8.11.18
『清水本陣資料』 3点	四日市市史編さん室	四日市市史編纂のため	11.26
『清水本陣資料』 7点	四日市市史編さん室	四日市市史編纂のため	12. 4
「四日市市平津団地産出アケボノゾウ臼歯化石」	飯田市美術館	研究用レプリカ作成のため	12.15
「公害裁判と住民運動」 ほか 3点 ビデオ	四日市市鈴鹿山麓研究学園都市推進室	環境問題を啓発するため	12.18
保永堂版「四日市」プリント カラー・ポジ	サッポロビール株式会社 名古屋支社	市制100周年記念缶ビールのラベル作成のため	H9. 1.17

5. 調査研究活動

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的研究、また豊かな特別展示等の開催に資するため、各種情報の収集に務めつつ、調査研究活動を行ってきたが、今後とも常設展・特別展等の充実、各専門分野での自己研鑽を図ることはもちろんのこと、他の博物館・研究機関、その他の公共機関等の調査研究活動への協力、資料収集・展示等への技術的指導と援助、またいろいろな施設で開催される各種の講演会等への講師派遣などで成果還元を図ることを目的として、館及び分野ごとの共通テーマに基づいた年度ごとの課題調査、学芸員個別の研究テーマによる調査、特別展・企画展に向けての事前の調査を柱として、博物館の諸活動を支える基礎的活動として活発に展開していきたいと考えている。

●平成8年度調査研究テーマ

- 「市内寺院調査」

平成7年度よりはじめた調査で、市内の寺院の所有する文化財の所在確認を行う調査。地域別に、網羅的に第1次調査を行い、特に必要とみとめられるものについては再度詳細調査を行った。この調査結果については一部『研究紀要』第4号に掲載したほか、調査終了後は基本台帳を作成して後世に正しく伝えるものとしたい。

- 「市内在住の個人所蔵の考古資料調査」

平成7年度より隨時行ってきた調査。今年度前期は週に1回程度訪問し、各資料についての出土地及び出土状況等について調書をとり、メモ写真を撮影してカード作成につとめた。

- 「各種展覧会等調査」

次年度以降の展覧会について、各担当者がそれぞれの研究テーマに沿ってさまざまな調査を行った。

●『研究紀要』第4号の発行

○規格：A4版 100P 700部 販売価格 ¥800

○内容：
 • 「四日市湊の灯明台—お陰参りのもう一つのかたち—」 学芸員 廣瀬 毅
 • 「神饌にみる古代の食文化—モチヒシトギー」 館長 上井 久義
 • 資料紹介「市内寺院所蔵品銘文集（一）—四日市市内寺院調査から—」

学芸員 田中 伸一

• シリーズ地域の民俗行事「鏡餅行事（三重地区生桑町）」企画普及係長（学芸員）
 東條 寛

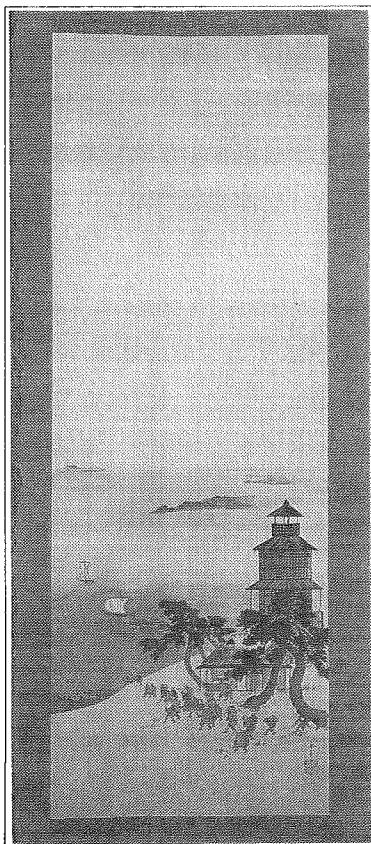
• 「織女（七夕）伝説譚」 館付主幹兼天文係長
 岸本 茂

• 「移動天文車による天文普及—稼働8ヶ月の運行経過—」館付主幹 鈴木 晴美
 • 展覧会あれこれ

企画展「公害の歴史—公害の街から環境の街へ—」企画普及係長（学芸員）
 東條 寛

企画展「ロンドンからくり工房展」 主事 上杉 達也

企画展「'96イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」 学芸員 田中 伸一



四日市湊之図
(個人蔵)

●他機関等での活動状況

企画普及係長（学芸員）	東條 寛	国立歴史民俗博物館共同研究員
主幹（学芸員）	堀越 光信	皇学館大学資料編纂所 (第二部門『続日本紀史料』編纂) 三重県センター博物館（仮称）資料調査委員

6. プラネタリウム事業

博物館の最上部、5・6階部分に傾斜型のプラネタリウムを設置して、市民の星に対する興味に応える場を提供している。各季節の星空解説番組と、テーマを設定したオリジナル番組を組み合わせたり、幼稚園・保育園対象の幼児番組、小学校低・中学年対象の星空番組、小学校5年生対象の番組投映や、生解説特別投映・CDコンサート・生演奏コンサートなど多様な企画を実施した。

(1) 天文展示コーナー

テーマ展示を「宇宙観5000年の歴史」として、一般展示では「四季の星雲星団」などを取り上げ、古代より現代に至る宇宙観の歴史をグラフィックによりわかりやすく展示展示するほか、太陽系の惑星や星座などの映像を自由に体験できるコーナーを設けている。

- ★パソコンで楽しむ星空ガイド「はじめての天文学」
- ★パソコン気象台「気象衛星ひまわりの情報」
- ★映像で楽しむ天文学「地球と宇宙」

(2) プラネタリウム投映活動

●一般投映季節番組

①春番組「春の星座解説とオーストラリア星紀行」

・投映期間：3月17日(日)～6月16日(日)

・内容：春の星座解説と、四日市では眺めることのできないオーストラリア（南半球）の星たちを紹介した番組。あこがれの南十字星や太陽系にもっとも近い恒星であるケンタウルス座の α 星、大小マゼラン星雲など。エアーズロックを背景に現れる星空やオーストラリアの雄大な風景など、四日市に居ながらにして海外旅行気分の味わえる番組。



②夏番組「夏の星座解説と銀河鉄道の夜」

・投映期間：6月23日(日)～9月16日(日)

- 内容：夏の星座解説と、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を題材にした番組。平成8年は、賢治の生誕100年の記念年にあたり、彼の代表作をとりあげた。夏休みを利用して祖父の所へ遊びに来た2人の孫が、「銀河鉄道の夜」の舞台となった種山高原を訪れ、そこからジョバンニとカンパネルラの幻想四次元の「星めぐり」の旅が繰り広げられる。



③秋番組「秋の星座解説と宇宙をめざして」

- 投映期間：9月22日(日)～12月8日(日)
- 内容：秋の星座解説と、今日の宇宙開発の成果と今後の開発計画を題材とした番組。ロケットの歴史や人工衛星や探査機の歩みからはじまって、宇宙科学研究所及び宇宙開発事業団(NASDA)が中心となって進められている日本の宇宙開発事業の現状と計画を紹介する。



④冬番組「冬の星座解説と巨大彗星(ヘール・ボップ) あらわる」

- ・投映期間：12月15日(日)～3月9日(日)
- ・内容：冬の星座解説と、今世紀最大級と予想された巨大彗星、ヘール・ボップ彗星を紹介した。これまでに知られている彗星、有名なハレー彗星をはじめとして、ベネット彗星、ウエスト彗星、イケヤ・セキ彗星なども交えて、これからの大彗星の予想をした。



●学習投映・学校園団体利用と解説番組

- ・幼児番組（星空解説と星座物語スライド）
- ・小学校低・中学年番組（星空解説と星座物語スライド）
- ・小学校5年生用番組（プログラム番組・太陽と月の動き）
- ・解説番組（当日の星空をもとにして解説者が星・天体・星座等を解説）

曜 日	10:30～	13:00～	14:30～	16:00～
平 日	団体利用	季節番組	季節番組	季節番組
土・日曜日	解説番組	季節番組	季節番組	季節番組
祝日・学校長期休業期間	季節番組	季節番組	季節番組	季節番組

* 団体利用については、学校・園その他の団体で20名以上の観覧がある場合①幼児・低学年向き解説番組、②小学校5年生用、③季節番組から希望により投映

●特別投映

- ①生解説特別投映 3回 (5/3 8/2 12/22)
- ②星空CDコンサート 12回 (4/26 5/24 6/14 7/26 8/23 9/13 10/25 11/22
12/23・24 1/24 2/21 3/21)
- ③星空生演奏コンサート 5回 (7/6・7 9/28 12/21 2/1)

* いづれも前売り制

- ④幼児低学年向き投映（親子観覧）

夏休み期間	7/22～26	10:30～	夏の星空とかんむり座の話
	7/29～8/2	10:30～	夏の星空とヘルクレス座の話
	8/19～23	10:30～	夏の星空とこと座の話
	8/26～30	10:30～	夏の星空といるか座の話
春休み期間	3/24～28	10:30～	春の星空とふたご座の物語

(3) 天文普及活動

- ・天体観望会 2回 (8/12 11/17)
- ・親子星空教室 2回 (5/18 8/6)
- ・子供天文教室 12回 (4/27 5/11 6/8 7/13 8/3 9/14 10/12 11/9 12/14 1/11
2/8 3/6)
- ・天体写真撮影講習会 2回 (4/28 8/11)
- ・天文講演会
 - 8月4日 「あなたも宇宙人」 講師 三重大学教授 為永 辰郎 氏
 - 11月3日 「流れ星と彗星の謎」 講師 当館顧問 山田 卓 氏
 - 1月19日 「星空であそぶ」 講師 当館指導主事 加藤 誠一

(4) 移動天文車「きらら号」星空観望活動

口径20cmの天体望遠鏡と観測ドームをのせた移動天文車が導入され、夏休みから本格稼働をはじめた。市内の天文ボランティアの参加を募り、子どもから大人まで多くの方に実際の宇宙の姿を眺めてもらった。

〔月別稼働状況〕

月 別	申込み件数	出動回数	中 止	参加人数	ボランティアのべ参加人数	出動率
7月	7件	6回	1回	430名	28名	86%
8月	21件	18回	3回	1,950名	53名	86%
9月	11件	5回	6回	470名	28名	46%
10月	16件	10回	6回	600名	37名	63%
11月	16件	9回	7回	525名	26名	56%
12月	13件	11回	2回	770名	33名	85%
1月	5件	5回	0回	270名	15名	100%
2月	2件	2回	0回	70名	4名	100%
3月	4件	3回	1回	810名	14名	75%
計	95件	69回	26回	5,085名	224名	72.6%

(申込み件数…天候不順による繰り延べ分も含む)

【移動天文車“きらら号”】

*平成8年6月末に納入され、7月から可動開始。

*車両本体 アウトリガー装着の特装車。三菱ふそう製ドロップフレーム式4ドン車。

- ・長さ：8.05メートル
- ・幅：2.48メートル
- ・高さ：3.75メートル
- ・重量：約8トン（望遠鏡などを含む）
- ・電動回転式観測ドーム（直径2メートル）

*望遠鏡 GOTO 20cm COUDE with CATS-1

- ・20cmクーデ式屈折望遠鏡
- ・ドローチューブ式焦点調整装置
- ・ドイツ型赤道儀（コンピュータ制御）
- ・有効口径：200mm（EDアポクロマートレンズ）
- ・焦点距離：1800mm
- ・口径5サブスコープ装備
- ・太陽投影板（着脱式）

*その他の装備

- ・身障者対応リフト
- ・身障者対応接眼部
- ・AV機器（カラーモニター、VTRデッキ）
- ・CCDカメラ
- ・小型天体望遠鏡



II. 管理・運営

1. 組織（平成9年3月末現在）

(1) 職員構成

館長 ————— 参事（兼）
 上井 久義 奈須 庄平
 [非常勤]

(2) 事務分掌 [管理係]

- ① 博物館事業の調整及び運営に関すること。
- ② 調査、統計及び報告に関すること。
- ③ 博物館協議会に関すること。
- ④ 施設の維持管理及び館内の秩序維持に関すること。
- ⑤ 施設の使用許可に関すること。
- ⑥ 観覧券の発売及び入館者の受付、案内等に関すること。
- ⑦ 館の庶務に関すること。

[企画普及係]

- ① 特別展示の企画及び開催に関すること。
- ② 常設展示及び特別展示の利用者への説明、指導等に関すること。
- ③ 博物館資料の収集、保管、展示、貸出し及び利用に関すること。
- ④ 博物館資料の調査研究及び報告書の刊行頒布等に関すること。
- ⑤ 講演会、講習会、研究会等の開催に関すること。
- ⑥ 博物館資料の購入、受贈及び受託に関すること。
- ⑦ 博物館の広報に関すること。

[天文係]

- ① プラネタリウムの映写及び天体観測に関すること。
- ② 天文知識の普及及び啓発に関すること。
- ③ 天文資料の収集、保管、展示及び調査研究に関すること。
- ④ 移動天文車に関すること。

管理係

館付主幹（兼）係長
 田辺 熉
 主幹 多田 麗子
 主幹（学芸員）
 堀越 光信〔歴史〕

企画普及係

係長（学芸員）
 東條 寛〔民俗〕
 学芸員 秦 昌弘〔歴史〕
 学芸員 森 昭宏〔自然〕
 学芸員 廣瀬 剛〔歴史〕
 主事 上杉 達也
 学芸員 中野 千幸〔考古〕
 学芸員 田中 伸一〔美術工芸〕

天文係

館付主幹（兼）係長
 岸本 茂
 館付主幹 鈴木 晴美
 指導主事 加藤 誠一
 指導主事 岩間 三有
 嘴託 山口 理恵子
 嘴託 打田 幸弘

2. 予 算 (平成 8 年度)

〔歳 入〕

(単位: 千円)

科 目				当初予算額
使用料及び手数料	博物館使用料	博物館観覧料		22,000
使用料		プラネタリウム観覧料		13,800
教育使用料		講座室使用料		103
社会教育使用料		特殊器具使用料		4
財産収入	市史等売扱収入			3,400
財産売扱収入				
物品売扱収入				
計				39,307

〔歳 出〕

(単位: 千円)

科 目	当初予算額	管理運営	調査研究	展示開催	資料収集	教育普及	プラネタリウム運営	天文車運営	天文車整備
報酬	394	394							
賃金	4,602	2,400	180	1,302	720				
報償費	3,548	50	196	1,311	164	400	1,127	300	
旅費	2,614	251	664	1,551	88		60		
需用費	72,289	44,459	1,954	19,658	921	600	4,337	360	
役務費	11,715	1,791		7,184		2,740			
委託料	264,378	108,089	360	43,117	3,232	330	41,700		67,550
使用料及び賃借料	9,835	2,855			800		6,180		
備品購入費	22,00				22,000				
負担金補助及び交付金	30,992	76	39	30,877					
計	422,367	160,365	3,393	105,000	27,925	4,070	53,404	660	67,550

3. 博物館協議会

四日市市立博物館協議会は、博物館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、博物館法及び四日市市立博物館条例の規定に基づき、平成7年6月1日付けで委員17名（定数20人）を委嘱（任期2年）して設置。本年度は、任期途中ではあったが、異動などの理由によって、あらたに8名の委員を委嘱し、変更した。なお、平成8年度は2回の協議会が開催された。

●第1回協議会

開催日時 平成8年10月8日(火)
午前10時30分～

場 所 博物館講座室

- 議 題 (1) 委員紹介
- (2) 副委員長選出
- (3) 平成8年度事業実施状況
- (4) 平成9年度事業計画
- (5) 移動天文車稼働状況
- (6) ボランティア活動状況

●第2回協議会

開催日時 平成9年2月27日(木)
午後1時30分～

場 所 博物館講座室

- 議 題 (1) 平成8年度事業実施計画
- (2) 平成9年度事業計画
- (3) ボランティア活動状況
- (4) 平成9年度博物館協議会委員の選出

なお、従来第2回の協議会は県外視察研集会を実施していたが、今年度は研集会は行わず、次年度以降の博物館のあり方、新たな意見を聴取できる様な委員の選出の仕方など実質的な討議が行われた。

〔四日市市立博物館協議会委員〕

◎委員長 ○副委員長

平成9年3月末現在

区分	職 名	氏 名
学校教育関係 5名	四日市市小学校長会会长（富田小学校校長）	清水 正茂
	四日市市中学校長会会长（内部中学校校長）	松岡 寛
	四日市市公立幼稚園長会会长（川島幼稚園園長）	大平 金子
	三重県北勢地区高等学校代表（四日市高等学校校長）	近藤 和也
	私立学校代表（暁小学校校長）	○小出 正章
社会教育関係 4名	四日市市P T A連絡協議会代表（会長：浜田中学校P T A）	山路 和良
	四日市市婦人会連絡協議会代表（副会長 常磐地区婦人会会长）	服部ます子
	四日市市子供会育成者連絡協議会代表（指導部長）	市川 敏郎
	四日市市自治会連合会代表（副会長）	野呂 康雄
学識経験者 8名	四日市市文化財保護審議会代表（副会長）	◎石田 昇三
	四日市市議会代表（教育民生委員会）	中森 慎二
	報道機関（市政記者クラブ）代表（毎日新聞四日市支局長）	小林 哲夫
	四日市商工会議所（社会文化委員会委員長）	熊澤 真清
	四日市大学短期大学部助教授（中世史）	播磨 良紀
	三重県立津高等学校教諭（天文）	鈴木 美好
	三重県立博物館館長	富田 靖男
	四日市市文化振興財団理事長	加藤 節子

4. 利用状況（平成8年4月1日～平成9年3月31日）

(1) 常設展

(上段：月計、下段：累計、単位：人)

開館日数	有料入館者												無料入館者										入館者合計	
	個人			団体 (20%割引)			減免 (50%割引)			有料入館者計			小中学校		園児		他団体		幼児		招待券			
	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中	校	人数	校	人数	校	人数	校	人数	校	人数		
4 26	667	37	80	46	22	0	10	1	0	0	0	0	863	0	0	0	0	1	11	20	476	507	1,370	
5 26	669	32	113	23	0	358	0	0	0	0	0	0	1,225	2	113	0	0	0	0	58	130	301	1,526	
	52	1,366	69	193	69	22	358	10	1	0	0	0	2,088	2	113	0	0	1	11	78	606	808	2,896	
6 26	570	21	124	75	0	188	3	0	0	0	0	0	981	3	149	6	142	0	10	68	212	581	1,562	
	78	1,936	90	317	144	22	546	13	1	0	0	0	3,069	5	262	6	142	1	21	146	818	1,389	4,458	
7 26	903	95	438	53	33	21	4	0	0	0	0	0	1,547	6	468	8	430	3	27	155	309	1,424	2,971	
	104	2,839	185	755	197	55	567	17	1	0	0	0	4,616	11	730	14	572	4	48	301	1,127	2,813	7,429	
8 27	3,402	280	2,039	70	1	76	27	1	3	0	0	0	5,899	1	17	1	28	1	44	935	379	1,403	7,302	
	131	6,241	465	2,794	267	56	643	44	2	3	0	0	10,515	12	747	15	600	5	92	1,236	1,506	4,216	14,731	
9 26	1,723	130	525	39	0	9	15	0	4	14	0	9	2,468	3	313	1	15	0	0	291	298	917	3,385	
	157	7,964	595	3,319	306	56	652	59	2	7	14	0	9	12,983	15	1,060	16	615	5	92	1,527	1,804	5,113	18,116
10 26	1,246	40	86	211	0	347	16	0	3	23	0	1	1,973	7	605	1	23	4	272	34	384	1,318	3,291	
	183	9,210	635	3,405	517	56	999	75	2	10	37	0	10	14,956	22	1,665	17	638	9	364	1,561	2,188	6,451	21,407
11 26	1,150	61	133	108	0	65	17	0	4	0	0	0	1,538	13	927	1	13	3	46	76	361	1,423	2,961	
	209	10,360	696	3,538	625	56	1,064	92	2	14	37	0	10	16,494	35	2,592	18	651	12	410	1,637	2,549	7,874	24,368
12 23	879	103	180	51	96	0	1	0	0	3	0	43	1,356	1	91	3	95	3	46	111	392	735	2,091	
	232	11,239	799	3,718	676	152	1,064	93	2	14	40	0	53	17,850	36	2,683	21	746	15	456	1,748	2,941	8,609	26,459
1 24	596	21	92	26	0	290	9	0	0	0	0	0	1,034	4	274	0	0	0	0	48	324	646	1,680	
	256	11,835	820	3,810	702	152	1,354	102	2	14	40	0	53	18,884	40	2,957	21	746	15	456	1,796	3,265	9,255	28,139
2 24	323	36	42	8	2	11	8	0	97	0	0	0	527	0	0	0	0	0	0	361	59	36	456	983
	280	12,158	856	3,852	710	154	1,365	110	2	111	40	0	53	19,411	40	2,957	21	746	15	817	1,855	3,301	9,711	29,122
3 27	463	28	100	18	0	23	14	5	0	5	0	0	656	2	332	2	49	1	14	64	122	581	1,237	
計	307	12,621	884	3,952	728	154	1,388	124	7	111	45	0	53	20,067	42	3,289	23	795	16	831	1,919	3,423	10,292	30,359

(2) 特別展

(上段：月計、下段：累計、単位：人)

月 開館 日 数	有料入館者												無料入館者								入館者 総計			
	個人			団体 (20%割引)			減免 (50%割引)		減免 (50%の団体)		有料 入館 者計	小中学校		園児		他団体		幼 児	招 待 券					
	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般		校 数	人 数	校 数	人 数	校 数	人 数							
① 20	861	49	131	43	22	67	6	0	0	0	0	1,179	1	65	0	0	0	6	66	359	496	1,675		
② 27	976	119	266	48	66	65	3	1	0	0	0	1,544	6	583	6	329	3	50	82	690	1,733	3,277		
	47	1,837	168	397	91	88	132	9	1	0	0	2,723	7	647	6	329	3	56	148	1,049	2,229	4,952		
③ 45	6,364	487	3,197	99	1	94	54	0	8	0	0	0	10,305	3	313	0	110	1	51	1,755	1,005	3,234	13,539	
	92	8,201	655	3,594	190	89	226	63	1	8	0	0	0	13,028	10	960	6	439	4	107	1,903	2,054	5,463	18,491
④ 38	2,408	77	133	216	0	74	35	0	0	0	0	0	2,943	12	1,027	1	67	6	414	63	918	2,489	5,432	
	130	10,609	732	3,727	406	89	300	98	1	8	0	0	0	15,971	22	1,987	7	506	10	521	1,966	2,972	7,952	23,923
⑤ 22	2,370	336	383	104	0	4	12	5	0	0	0	0	3,214	2	137	1	10	2	36	421	818	1,422	4,636	
	152	12,979	1,068	4,110	510	89	304	110	6	8	0	0	0	19,185	24	2,124	8	516	12	557	2,387	3,790	9,374	28,559
⑥ 27	857	34	76	21	0	0	5	0	0	0	0	0	993	0	0	0	0	0	44	665	709	1,702		
	179	13,836	1,102	4,186	531	89	304	115	6	8	0	0	0	20,178	24	2,124	8	516	12	557	2,431	4,455	10,083	30,261
⑦ 32	487	18	102	0	0	0	8	0	1	0	0	0	616	2	248	0	0	0	0	62	513	823	1,439	
計	211	14,323	1,127	4,288	531	89	304	123	6	9	0	0	0	20,794	26	2,372	8	516	12	557	2,493	4,968	10,906	31,700

特別展・企画展

- ①「館蔵品展」 4月20日(土)～5月12日(日) 20日間
- ②「公害の歴史～公害の街から環境の街へ」 6月21日(日)～7月21日(日) 27日間
- ③「ロンドンからくり工房展」 7月27日(土)～9月16日(月) 45日間
- ④「神宝の美」 9月29日(日)～11月11日(月) 38日間
- ⑤「'96イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」 11月21日(木)～12月15日(日) 22日間
- ⑥「第34回朝日陶芸展」 12月21日(土)～1月26日(日) 27日間
- ⑦「ふるさとの絵図～失われた風景をもとめて～」 3月8日(土)～4月13日(日) 32日間

(3) プラネタリウム

(上段：月計、下段：累計、単位：人)

月 開館日数	有料入館者												無料入館者								入館者総計			
	個人			団体 (20%割引)			減免 (50%割引)		減免 (50%割引の割合)		有料入館者計	小中学校		園児		他団体		幼児	招待券					
	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般		校	人数	校	人数	校	人数	校	人数					
4	24	545	120	230	28	0	0	3	0	0	0	926	0	0	0	0	1	45	66	58	169	1,095		
5	26	695	129	250	16	0	297	2	0	0	0	1,389	0	0	0	0	0	0	65	9	74	1,463		
	50	1,240	249	480	44	0	297	5	0	0	0	2,315	0	0	0	0	1	45	131	67	243	2,558		
6	21	665	137	231	65	0	84	1	0	0	0	1,183	2	133	15	436	0	0	100	29	698	1,881		
	71	1,905	386	711	109	0	381	6	0	0	0	3,498	2	133	15	436	1	45	231	96	941	4,439		
7	24	1,166	224	517	0	0	0	31	1	2	0	0	1,941	5	415	22	1,474	1	94	336	27	2,346	4,287	
	95	3,071	610	1,228	109	0	381	37	1	2	0	0	5,439	7	548	37	1,910	2	139	567	123	3,287	8,726	
8	27	2,268	304	1,461	0	0	0	13	16	2	0	0	4,064	0	0	1	64	3	165	686	109	1,024	5,088	
	122	5,339	914	2,689	109	0	381	50	17	4	0	0	9,503	7	548	38	1,974	5	304	1,253	232	4,311	13,814	
9	22	853	162	336	0	0	0	2	0	1	0	0	1,354	4	331	0	0	1	19	133	35	518	1,872	
	144	6,192	1,076	3,025	109	0	381	52	17	5	0	0	10,857	11	879	38	1,974	6	323	1,386	267	4,829	15,686	
10	26	528	111	191	21	19	597	6	0	2	1	0	1	1,477	8	712	2	90	2	211	62	16	1,091	2,568
	170	6,720	1,187	3,216	130	19	978	58	17	7	1	0	1	12,334	19	1,591	40	2,064	8	534	1,448	283	5,920	18,254
11	26	570	98	382	68	0	67	22	0	148	0	0	0	1,355	14	1,073	4	134	4	97	91	17	1,412	2,767
	196	7,290	1,285	3,598	198	19	1,045	80	17	155	1	0	1	13,689	33	2,664	44	2,198	12	631	1,539	300	7,332	21,021
12	17	443	126	299	3	96	0	3	0	0	0	0	970	3	226	3	95	1	18	50	24	413	1,383	
	213	7,733	1,411	3,897	201	115	1,045	83	17	155	1	0	1	14,659	36	2,890	47	2,293	13	649	1,589	324	7,745	22,404
1	24	674	96	329	16	96	290	5	0	2	0	0	0	1,412	0	296	0	0	0	27	111	33	467	1,879
	237	8,407	1,507	4,226	217	211	1,335	88	17	157	1	0	1	16,071	36	3,186	47	2,293	13	676	1,700	357	8,212	24,283
2	24	631	153	127	8	2	11	5	0	0	0	0	937	2	114	5	196	3	396	109	36	851	1,788	
	261	9,038	1,660	4,353	225	213	1,346	93	17	157	1	0	1	17,008	38	3,300	52	2,489	16	1,072	1,809	393	9,063	26,071
3	22	656	188	492	21	0	23	14	0	0	0	0	1,394	2	248	3	78	0	0	267	37	603	1,997	
計	283	9,694	1,848	4,845	246	213	1,369	107	17	157	1	0	1	18,402	40	3,548	55	2,489	16	1,072	2,076	430	9,666	28,068

5. 関係法規

四日市市立博物館条例

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2及び博物館法（昭和26年法律第265号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 本市は、自然科学及び人文科学に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供するとともに、プラネタリウムによる天体運行等の映写を行い、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、四日市市立博物館（以下「博物館」という。）を四日市市安島一丁目3番16号に設置する。

(事業)

第3条 博物館は、前条の設置目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 歴史、考古、民俗、美術工芸、天文等に関する実物、複製、複写、模型、図書、図表、写真、フィルム、レコード等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及び利用に供すること。
- (2) 博物館資料の利用者に対する説明、助言及び指導に関すること。
- (3) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究に関すること。
- (4) 博物館資料の保管、展示等に関する技術的研究に関すること。
- (5) 博物館資料に関する解説書、目録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (6) 博物館資料に関する講演会、研究会等を開催すること。
- (7) 他の博物館、図書館、学校その他関係機関との連絡及び協力に関すること。
- (8) プラネタリウムによる天体運行等の映写及び天体観測の指導に関すること。
- (9) その他必要な事業

(観覧料)

第4条 博物館資料の展示会場へ入場しようとする者及びプラネタリウムの映写を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

2 前項に定める観覧料の額は、別表第1に定める額に100分の103を乗じて得た額とする。この場合において、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。

3 前項の規定にかかわらず、中学生以下及び心身障害者で、受付において身体障害者手帳、療育手帳又はそれらに代わるものを持った者の観覧料の額は、別表1に定める額とする。

(特別展示室等の使用)

第5条 四日市市教育委員会（以下「委員会」という。）は、第2条の設置目的に反せず、第3条の事業に支障のない範囲内において、展示発表等のため、博物館の特別展示室及び講座室（以下「特別展示室等」という。）の使用を許可することができる。

2 前項の規定により、特別展示室等を使用しようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

3 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める使用料を規則で定める期限までに納付しなければならない。

4 前項に定める使用料の額は、別表第2に定める額に、100分の103を乗じて得た額とする。この場合において、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。

(特別利用の許可等)

第6条 博物館資料の熟覧、模写、模造、撮影等をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、2,000円の範囲内において規則に定める手数料を納付しなければならない。

(入館等の制限)

第7条 委員会は、次の各号の一に該当すると認めたときは、博物館への入館を拒否し、若しくは退館を命じ、又は第5条第2項及び前条第1項の許可をしない。

(1) 公安、風俗その他公益を害するおそれがあるとき。

(2) 施設、附属設備等を損傷するおそれがあるとき。

(3) その他委員会において管理上支障があると認めたとき。

(観覧料、使用料及び手数料の減免)

第8条 市長は、特に必要があると認めたときは、観覧料、使用料及び手数料を減額又は免除することができる。

(観覧料、使用料及び手数料の還付)

第9条 既納の観覧料、使用料及び手数料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

制定 平成5年3月30日 条例第16号

(権利の譲渡等の禁止)

第10条 第5条第2項及び第6条第1項の規定により許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第11条 委員会は、使用者が次の各号の一に該当すると認めたときは、許可の条件を変更し、又は使用若しくは利用を停止し、若しくは許可を取り消すことができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 許可の条件に違反したとき。

(3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。

(4) その他委員会において特に必要があると認めたとき。

(特別の設備等)

第12条 使用者は、既存の設備を変更し、又は特別の設備を使用しようとするときは、あらかじめ委員会の承認を受けなければならない。

(原状回復の義務)

第13条 使用者は、その使用若しくは利用を終了したとき又は第11条の規定により使用若しくは利用を停止され、若しくは許可を取り消されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

2 使用者が前項の義務を履行しないときは、委員会においてこれを執行し、使用者からその費用を徴収する。

(損害賠償)

第14条 使用者は、使用若しくは利用中に建物、附属設備等を損傷又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(博物館協議会)

第15条 博物館の運営に關し、館長の諮詢門に応じるとともに、館長に對して意見を述べる機関として、法第20条第1項の規定に基づき、博物館に四日市市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員の定数は、20人以内とする。

3 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に關し必要な事項は、委員会が別に規則で定める。

附則

(施行期日)

1 この条例は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第3条第1号（博物館資料の展示及び利用に供する部分に限る。）、第2号及び第8号並びに第4条から第14条までの規定は規則で定める日から、次項の規定は平成5年9月1日から施行する。

(四日市市立郷土資料庫条例の廃止)

2 四日市市立郷土資料庫条例（昭和45年四日市市条例第38号）は、廃止する。

別表第1（第4条関係）

区分	博物館常設展示 1人1回につき	プラネタリウム 1人1回につき	博物館特別展示及び プラネタリウム特別番組 1人1回につき
一般	200円	500円	2,000円の範囲内で 委員会が定める額
高・大学生	150円	350円	
小・中学生	100円	200円	

備考

(1) 心身障害者で、受付において身体障害者手帳、療育手帳又はそれらに代わるものを持った者に限り、観覧料は、規定料金の100分の50の額とする。

(2) 20人以上の団体は、1人1回につき規定料金の100分の80の額とする。

別表第2（第5条関係）

区分	午 前	午 後	全 日
	午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午前9時から 午後5時まで
特別展示室	—	—	30,000円
講 座 室	8,000円	12,000円	20,000円

四日市市立博物館条例施行規則

制定 平成5年3月31日 教委規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、四日市市立博物館条例（平成5年四日市市条例第16号。以下「条例」という。）第16条の規定に基づき、条例の施行について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 四日市市立博物館（以下「博物館」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、四日市市教育委員会（以下「委員会」という。）が特に必要があると認めたときは、これを変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が特に必要あると認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 水曜日。ただし、その日が国民の休日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日とする。

(2) 12月29日から翌年1月3日まで

(観覧の手続)

第4条 博物館資料の展示会場に入場しようとする者及びプラネタリウムの映写を観覧しようとする者は、観覧料の納入の際に観覧券の交付を受け、展示室及びプラネタリウム室の入口においてこれを係員に提示又は提出しなければならない。

(使用許可の申請)

第5条 条例第5条第2項の規定により、特別展示室等の使用の許可を受けようとする者は、四日市市立博物館使用許可申請書（第1号様式。以下「申請書」という。）により委員会に申請しなければならない。

2 前項の申請の受付は、使用しようとする日（引き続き2日以上使用しようとする場合は、その最初の日をいう。以下「使用日」という。）の属する月の初日前6月からとする。

3 前項の規定にかかわらず、次の各号の一に該当する場合は、前項に定める期間前に受付できるものとする。

(1) 四日市市又は委員会が行う事業又は主催する行事に使用するとき。
(2) その他委員会が特に必要あると認めたとき。

4 第1項に規定する申請書の受付は、午前9時から午後5時までとする。ただし、休館日の受付は行わない。

(使用の許可)

第6条 委員会は、前条第1項の使用許可の申請について適当と認めたときは、使用の許可を決定し、四日市市立博物館使用許可書（第2号様式。以下「許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

2 博物館の使用について許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、博物館使用の際に、前項の許可書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

(使用の変更及び取消し)

第7条 使用者は、許可書に記載された事項を変更し、又は施設の使用を取り消そうとするときは、四日市市立博物館使用変更（取消し）許可申請書（第3号様式）に許可書を添えて委員会に提出しなければならない。

2 委員会は、前項の規定により使用の変更又は取消しを許可したときは、四日市市立博物館使用変更（取消し）許可書（第4号様式。以下「変更（取消し）許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

(附属設備の名称及び使用料の額)

第8条 博物館の附属設備の使用料の額は、別表第1に定める額に100分の103を乗じて得た額とする。この場合において、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。

(使用料の納付)

第9条 使用者は、使用の許可と同時に使用料を納付しなければならない。

2 官公署が使用する場合にあっては、前項の規定にかかわらず、別に納付期間を定めることができるものとする。

(観覧料の減免)

第10条 条例第8条の規定に基づく観覧料の減額又は免除の範囲は、次のとおりとする。

(1) 四日市市及び三重郡に所在する学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する小学校、中学校の児童、生徒が学校教育の一環として教職員に引率されて常設展示、プラネタリウムを観覧するとき。10割

(2) 博物館が開催する特別展示を観覧料を納付して観覧したもの、引き続き常設展示を観覧するとき。10割

(3) その他委員会が特別の事由があると認めた時。

その都度委員会が定める割合

2 前項第1号に定める観覧料の減免を受けようとする者は、四日市市立博物館観覧料減免申請書（第5号様式）に、減免を必要とする理由を記し、委員会に申請しなければならない。

(優待券等)

第11条 委員会が特に必要と認めたときは、優待券、招待券及び特別展示前売観覧券を発行することができる。

(使用料の還付)

第12条 条例第9条ただし書の規定により使用料を還付する場合及び還付の割合については、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 災害等特別の事由により、使用者の責めによらない場合において使用できなかったとき。10割

(2) 使用者が使用日の前7日以前に使用許可の取消しを申請し、許可されたとき。5割

2 使用者が第7条の規定により博物館の使用の変更を許可された場合において、既納の使用料に過納金が生じたときは、これを還付するものとする。

3 前2項の規定により使用料の還付を受けようとする者は、四日市市立博物館使用料還付申請書（第6号様式）に第1項第1号の場合にあっては許可書と使用料領収書、第1項第2号及び前項の場合にあっては変更（取消し）許可書と使用料領収書を添えて委員会に申請しなければならない。

4 委員会は、前項の申請を受理し、還付を決定したときは、四日市市立博物館使用料還付決定通知書（第7号様式）を申請者に交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第13条 博物館に入館する者、使用者及び条例第6条第1項の規定により許可を受けた者（以下「使用者等」という。）は、条例及びこの規則に定めるもののほか、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 使用を許可されていない施設を使用し、又は立ち入らうこと。

(2) 所定の場所以外で喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(3) 許可を受けないで張り紙をし、又はくぎ類を打ち、建物その他の

物品をき損又は汚損するおそれのある行為をしないこと。

- (4) 騒音を発し、暴力を用いるなど他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(5) その他委員会が定める事項及び係員の指示に従うこと。

(職務上の立入り)

第14条 使用者は、係員の職務上の立入りを拒んではならない。(施設等の損傷の届出)

第15条 使用者等は、施設、附属設備等を損傷又は滅失したときは、直ちに理由を付して委員会に届け出なければならない。

(使用後の届出及び点検)

第16条 使用者等は、条例第13条の規定により施設、設備等を原状に復したときは、速やかに委員会に届け出るとともに、その点検を受けなければならない。

(特別利用の許可の申請)

第17条 条例第6条第1項の規定に基づき、特別利用の許可を受けようとするものは、四日市市立博物館資料特別利用許可（減免）申請書（第8号様式）を委員会に提出しなければならない。

2 委員会は特別利用の許可をしたときは、四日市市立博物館資料特別利用許可書（第9号様式）を交付するものとする。

3 四日市市立博物館資料特別利用許可書の交付を受けたものは、直ちに条例第6条第2項に基づく手数料を納付しなければならない。

4 前項に定める手数料の額は、別表第2に定める額に100分の103を乗じて得た額とする。この場合において、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。

第18条 条例第8条の規定に基づく手数料の減額又は免除の範囲は、次のとおりとする。

(1) 市、県又は国若しくは他の地方公共団体が行う教育、学術若しくは文化の事業又はこれらの事業の普及の用途に供することを目的とするとき 10割

(2) 私立の博物館、図書館、学校等が行う教育又は研究の用途に供することを目的とするとき。 10割

(3) 主に学術研究の用途に供することを目的とするとき 10割

(4) その他委員会が特別の事由があると認めたとき。

その都度委員会が定める割合

2 前項に定める使用料の減免を受けようとする者は、四日市市立博物館資料特別利用（減免）申請書（第8号様式）に、減免を必要とする理由を記し、委員会に申請しなければならない。

(特別利用の制限)

第19条 次の各号の一に該当するときは、特別利用の許可をしない。

(1) 特別利用によって博物館の資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると委員会が認めたとき。

(2) 現に博物館資料が展示されているとき。

(3) 寄託された博物館資料で寄託者の同意を得ていないとき。

(4) 著作権がある博物館資料で著作者の承諾を得ていないとき。

(5) その他委員会が特別利用をすることが不適当と認めたとき。

(博物館資料の館外貸出し)

第20条 博物館資料は、次の各号の一に該当するときは、館外への貸出しをしない。ただし、他の博物館、図書館、学校その他委員会が適當と認めたものは、博物館資料の館外貸出しを受けることができる。

(1) 館外貸出しによって博物館資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると委員会が認めたとき。

(2) 現に博物館資料が展示されているとき。

(3) その他委員会が博物館資料の館外貸出しをすることが不適当と認めたとき。

2 前項ただし書きの規定により、博物館資料の館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ四日市市立博物館資料館外貸出許可書（第10号様式）を委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

3 委員会は、博物館資料の館外貸出しを認めた場合は、四日市市立博物館資料館外貸出許可書（第11号様式）を交付するものとする。

4 博物館資料の館外貸出しの期間は、1月以内とする。ただし、委員会が特に必要があると認めたときは、この限りではない。

(協議会の委員長及び副委員長)

第21条 条例第15条に規定する四日市市立博物館協議会（以下「協議会」という。）に、委員長及び副委員長を置き、それぞれ委員の互選によって選出する。

2 委員長及び副委員長の任期は、委員としての在任期間とする。

3 委員長は、協議会の会務を総理し、協議会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第22条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、定例会及び臨時会とし、定例会は年2回、臨時会は必要に応じて開催する。

2 会議は、委員長が召集し、委員長がその議長となる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第23条 協議会の庶務は博物館において処理する。

(委任)

第24条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第2条から第20条までの規定は、条例附則ただし書きに規定する規則で定める日から、次項の規定は、平成5年9月1日から施行する。

(四日市市立郷土資料庫条例施行規則の廃止)

2 四日市市立郷土資料庫条例施行規則（昭和45年教育委員会規則第5号）は、廃止する。

別表第1（第8条関係）

区 分	使用料（一回一式）
1 6 ミリ映写機	2,000円
スライド映写機	1,000円
プロジェクター	1,000円

別表第2（第17条関係）

区 分	手数料（一点一日）
熟覧	300円
模写	1,000円
拓本	1,000円
撮影	1,000円

III. 施設概要

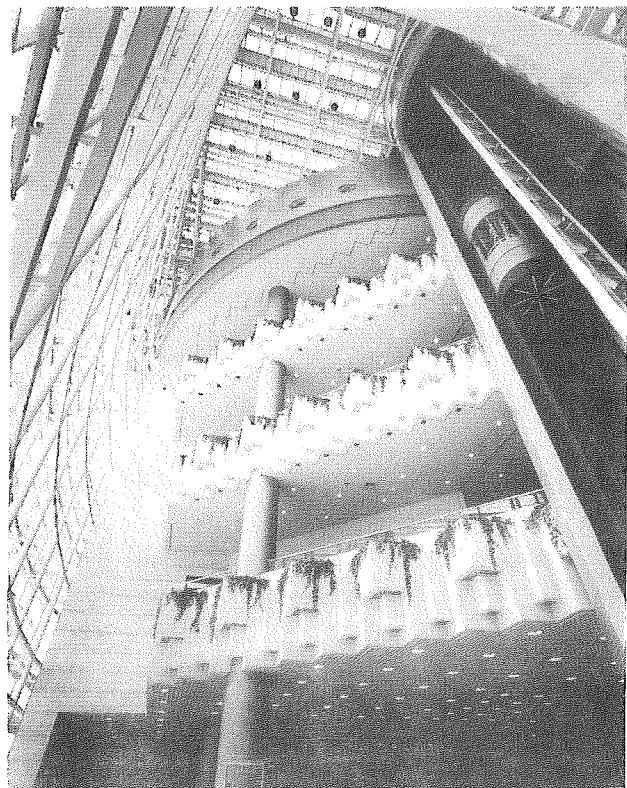
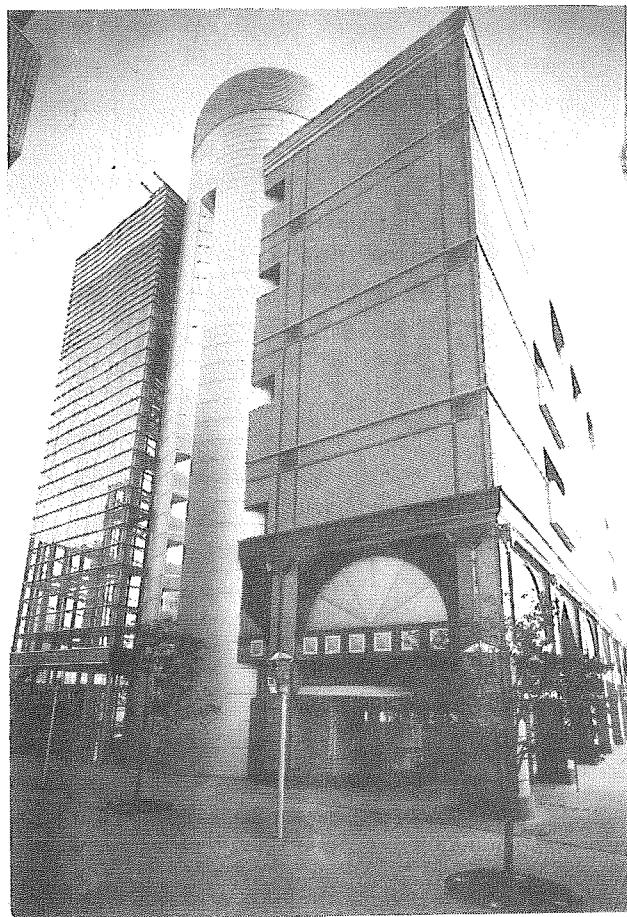
●設計概要

敷地は、旧四日市工業高校跡地の一角で、街区内には都市公園を介して地場産業振興センター、アムスクエアがあり、それらとの調和を図る必要があった。そこで、形態的には都市公園を介してオープンなアトリウムで呼応しあう関係を生み出し、色調的にはアムスクエアのグレイッシュピンクと補色関係にあり色の映える淡緑青色を基調としている。

外観デザインとしては、博物館とプラネタリウムという複合した機能を持つ建物の性格上、「過去」(歴史)、「現在」、「未来」(宇宙)の調和をテーマとしている。そのことは、基壇部において花崗岩のジェットバーナー仕上げで歴史の積層をイメージし、胴部において割肌タイルにより工業化が進んだ現代だからこそ逆に求められる手造り的なあたたかさ、やしさを表現し、頂部においてステンレスの球体を一部露出させ、未来的、宇宙的なイメージを喚起して、それらの三層構成による対比と調和を図っている。また、都市公園に面する東側はボリュームの大きさからくる威圧感を低減するために、面を分節化し、水平線を強調したガラスのカーテンウォール、地上の縁が階段状に延長した濃緑色の石貼部、太陽光線をイメージした黄色の垂直線、コンビナートのメタファーとしての金属のパイプや球体により、リズミカルで変化のある構成としている。

内部機能構成としては、地下部分に収蔵部門、1階にエントランス、2~4階に博物館部門、5、6階にプラネタリウム部門を收め、地上部分に5層吹抜のアトリウムを設けることにより積層化した施設の空間的な一体感を生み出す計画としている。また、都市公園に対してオープンな構成とし、それを借景として利用することで空間的な広がりを持たせている。

(石本建築事務所)

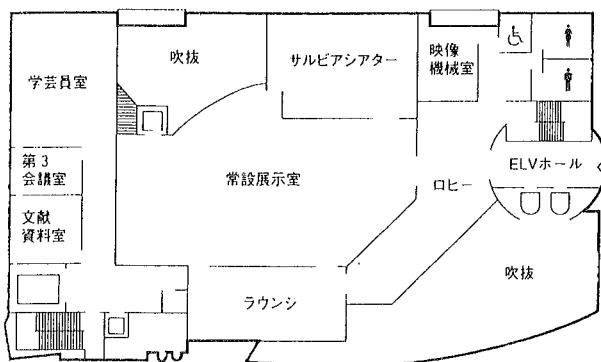


●工事概要

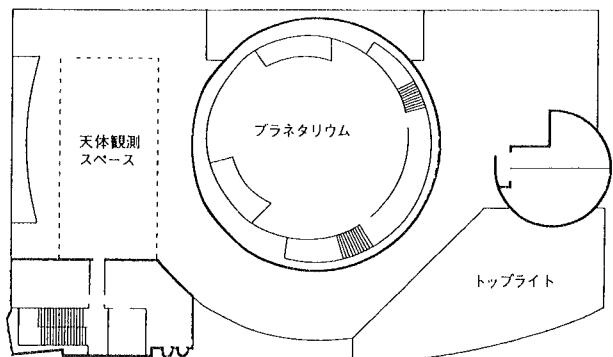
所在地	〒510 三重県四日市市安島一丁目 3番16号 「近鉄四日市駅」下車徒歩5分
電話	0593-55-2700 代表
FAX	0593-55-2704
テレホンサービス	0593-55-2705
施設規模	敷地面積 1,845.840m ² 建設面積 1,590.397m ² 延床面積 10,147.108m ²
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階 建物最高の高さ 38.075m
建物イメージ	歴史(石を用いた古典的な様式) 現代(石、土ものの自然素材と 金属、ガラスなどの組み 合わせによる新旧共存) 未来(金属板の仕上げ =プラネタリウム)
色彩イメージ	1F 海 青 2F 大地 橙 3F 草花 黄 4F 山脈 緑 5F 空(宇宙) シルバーメタリック
地域・地区	商業地域・防火地域 建蔽率100%(耐火)、容積率600%
主な室名と面積	<ul style="list-style-type: none"> ●展示・教育部門 2,156.155m² <ul style="list-style-type: none"> 常設展示室 2F 564.691m² 特別展示室 3F 454.618m² ラウンジ 4F 594.798m² 情報コーナー 1F 118.81 m² 講座室 1F 142.218m² ●収蔵部門 1,256.230m² <ul style="list-style-type: none"> 収蔵庫① 2B2F 243.29 m² 前室 2B2F 38.88 m² 収蔵庫② 1B1F 282.17 m²(恒温恒湿) 収蔵庫③ 1B1F 384.496m² 前室 1B1F 76.086m² 荷解室 1F 231.308m² ●研究部門 474.802m² <ul style="list-style-type: none"> 学芸員室 3F 105.059m² 資料整理室 1B1F 84.37 m² 文献資料室 3F 37.952m² 資料評価室 4F 33.30 m² くん蒸室 1B1F 43.07 m² スタジオ暗室 1B1F 87.51 m² ビデオ編集室 1B1F 16.882m² 会議室② 4F 37.952m² 会議室③ 3F 28.707m² ●プラネタリウム部門 1,714.282m² <ul style="list-style-type: none"> 客席(ドーム) 5F-6F 565.017m² 天文学習室 5F 59.081m² 天文展示コーナー 5F 194.763m² プラネタリウム事務室 5F 59.326m² 空調機械室 5F-6F 836.095m² ●管理・一般部門 4,545.639m² <ul style="list-style-type: none"> 事務室 2F 60.464m² 館長室 2F 37.001m² 会議室① 2F 50.422m² ミュージアムショップ 1F 28.723m² 警備室 1F 20.812m² 中央監視室 2B2F 44.064m² 設備機械室 2B2F 486.19 m² 電気室、発電室 240.152m² 倉庫、展示備品庫など 3,577.811m²
プラネタリウム (1,714m ²)	ドーム径 18.5m 傾斜型(傾斜度20度) 座席 164席 GSS ヘリオス(五藤光学研究所製) 7.4等星 25,000個の恒星が投映可能 分離型惑星投映機 9台

スカイライン投映機(80+80シーン)	
マルチイメージシステム	
マルチサウンドシステム	
全天周映画 可能	
アストロビジョン70(10.パフォーマンス)	
プラネタリウムとの同期可能(ショートフィルム)	
●主な施工業者名	
建築 梶鶴池組 三菱建設㈱	
丸藤建設㈱	
電気 株電工社・四日市電機㈱	
須賀工業㈱ ダイダン㈱	
三東工業所	
プラネタリウム 株五藤光学研究所	
建築設計 株石本建築事務所	
展示設計 ㈲ササキ企画	
展示 昭工美術㈱	
展示映像 中部松下システム㈱	
ハイビジョン 中部松下システム㈱	
陶壁 萬古環境造形体	
●設備概要	
●空調設備	
1. 空調熱源機器設備	
①スクリュー冷凍機	
(冷房能力 293,000Kcal/H(97URST))	
暖房能力 254,000Kcal/H) 2基	
②スクリュー冷凍機用(空気熱交換器) 2基	
送風機(低騒音型 3,400m ³ /min) 3台	730m ³
③蓄熱槽	
2. 空調、換気及び排煙機器設備	
①空調機	
エアーハンドリングユニット 9基	
パッケージ型空調機 30基	
ファンコイルユニット 20基	
全熱交換機 5基	
②送、排風機	
シロッコファン 2基	
軸流ファン 8基	
ラインファン 13基	
消音ボックス付ラインファン 20基	
デリベントファン 1基	
排煙ファン 3基	
排煙口 25基	
3. その他機器	
①フィルターユニット	
外気新鮮空気処理ユニット 3基	
②消音マフラーユニット 9基	
③その他付属設備 一式	
4. 空調配管設備	
①空調用ポンプ 14基	
②冷温水2次ポンプ可变速制御盤 1基	
③冷水ヘッダー 2基	
④温水 2基	
⑤冷温水用防触装置 4基	
⑥その他付属設備 一式	
●給排水衛生設備	
1. 給水設備	
①ポンプ 揚水ポンプ 2基	
②受水槽 有効容量 12.7m ³ (2分割・複合板) 1基	
③高架水槽 有効容量 6.3m ³ (2分割・SUS444)保温付 1基	
④電機湯沸器 貯湯量 10L 3基	
貯湯量 20L 3基	
壁掛型瞬間湯沸器 2基	
⑤ウォーターサーバー	
壁埋込式、ステンレス製 2基	
冷水能力 30L/H 2基	
⑥その他付属設備 一式	
2. 排水設備	
公共下水道接続箇所	
①湧水排水ポンプ 6基	
②雑排水ポンプ 2基	
③雨水排水ポンプ 2基	
④くん蒸設備(真空殺虫殺菌装置) 3.15m ²	
●消防設備	
①屋内消火栓ポンプ 1基	
②屋内消火栓設備 12基	
屋内消火栓箱 4基	
屋内消火栓箱(併設型) 4基	
③連結散水設備 閉鎖型(8系統) 一式	
●ハロン消火設備 7系統	
(特別展示室、収蔵庫①②③、 前室、電気室、発電室)	一式
④救助袋 3-5階 6台	
●自動火災報知設備	
差動スポット感知器 6個	
定温スポット感知器 14個	
煙感知器 384個	
炎感知器 4個	
⑤非常放送設備 一式	
⑥消化器 38本	
⑦誘導灯設備 避難出口誘導灯 54台	
通路誘導灯 39台	
客席誘導灯 22台	
●その他付属設備	
●防犯設備	
①防犯設備 热感センサー 46箇	
②監視カメラ 1-4階 カラードーム形 16台	
CO ₂ モニター 1台	
モニターテレビ 5台	
③防火扉 47箇所	
④防火・防炎シャッター 32箇所	
⑤排煙口 28箇所	
●電気設備	
①受電電圧 交流3相3線式 6600V 60Hz	
②変圧器	
動力用	
3相6.6KV/210V 300KVA 1台	
3相6.6KV/210V 500KVA 1台	
3相6.6KV/210V 150KVA 2台	
3相6.6KV/440V 500KVA 1台	
電灯用	
1相6.6KV/210V/105V 300KVA 2台	
1相6.6KV/210V/105V 100KVA 1台	
③自家用発電機	
6気筒4サイクルディーゼル機関 480Ps 1200rpm 1台	
3相交流同期発電機 400KVA 6600V 1台	
④電線路電圧 6600V 440V 210V 105V	
⑤電気室 高低压配電盤 19面	
動力制御盤 15面	
電灯分電盤 21面	
端子盤 12面	
●低圧回路	
●低圧負荷設備	
電動機合計容量 1,123.023KW 130台	
電灯コンセント合計容量 476KVA 2,115個	
●直流電源装置	
100V 非常照明用 発電機設備機器操作	
用全自动サイリスター式整流器	
(入力 交流3相 200V 60Hz 直流出力電流 50A 3相全波整流) 1面	
蓄電池 ベースト式高率放電用鉛蓄電池 2V×54セル	
●交流無停電電源装置	
100V 中央監視装置用	
商用同期常時インバーター給電方式	
(交流入出力 单相2線式 100V 60Hz 出力容量 5KVA) 1台	
●電気時計 水晶発信式 6回路	
親時計 1台 子時計 41台	
●放送設備 防災アンプ 480W 20回路	
●電話設備 デジタル電子交換機 一式	
多機能電話機 15台	
一般電話機 34台	
●テレビ共聴設備 CATV引込(CTY)	
●中央監視設備 SAVIC-NET50による監視システム	
●エレベーター	
1.2号 乗用(展望用) 定員17名 1150kg 90m/分	
3号 乗用 定員11名 750kg 105m/分	
4号 人荷用 定員67名 4400kg 30m/分	
5号 乗用 定員11名 750kg 30m/分	
●その他設備 昇降リフト(2トン) 1台	
ゴンドラ(ガラス清掃) 2台	
自動扉 4箇所	

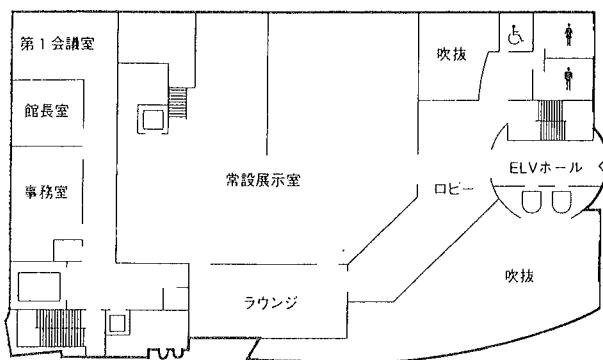
3階平面図



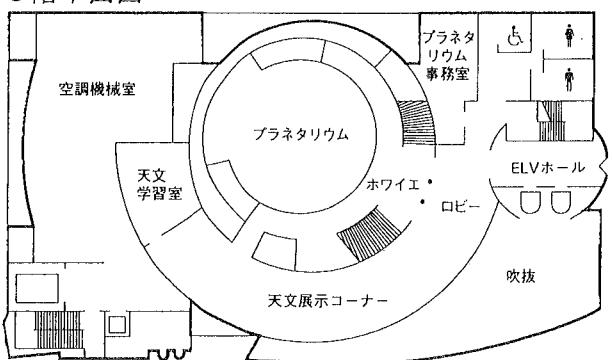
6階平面図



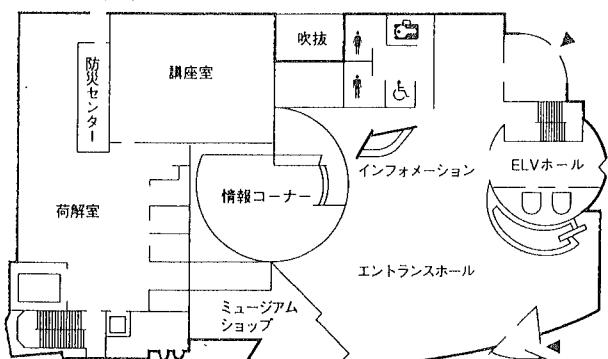
2階平面図



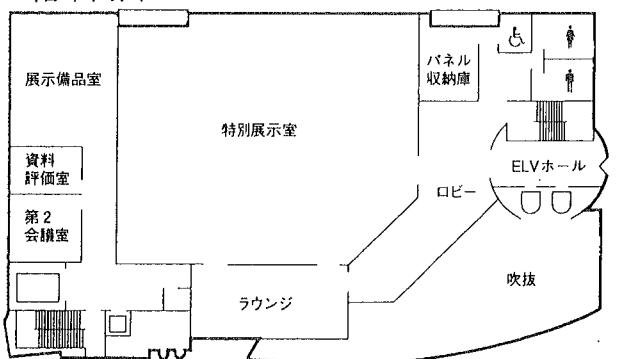
5階平面図



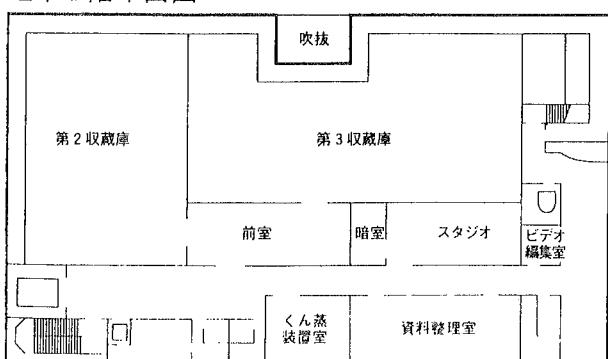
1階平面図



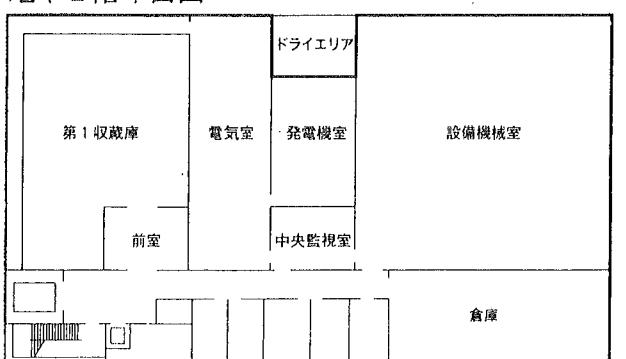
4階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図



IV. 利用案内

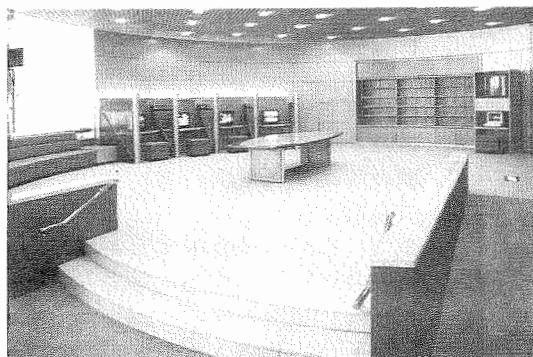
●博物館を彩る施設（無料利用できる部分）

□エントランス・ホール（1F）

入口に入ると5Fまで吹き抜けているアトリウムとシースルーエレベーターが目を引く。ここは誰でも入れる自由空間。喫煙コーナーもあり待ち合わせに最適な場所でもある。

□情報コーナー（1F）

4台のLDにより四季にわたり四日市各地に伝わる伝承行事を入館者が自由に観ることができる。また、歴史・自然・美術工芸などの書籍も自由に閲覧でき、インターネットによる市政情報検索が可能。



□ミュージアム・ショップ（1F）

入館の思い出となる記念品や市、博物館が刊行する図録等の書籍を販売。



●開館時間／午前9時～午後5時

(ただし入館は午後4時30分まで)

●休館日／水曜日（休日の場合は翌日）

12月29日～1月3日

常設展示 プラネタリウム

●料 金／一 般	210円	520円
高・大学生	150円	360円
小・中学生	100円	200円

※料金には消費税が含まれています。

●会場内の写真撮影、模写、万年筆、毛筆などの使用はお断りします。

●陳列ケース、展示品には触れないでください。

●館内の喫煙、飲食はご遠慮ください。



※博物館には駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

□陶壁（2Fロビー）

四日市市の歴史、美術資料の展示効果と現代建築における陶の材質美との調和を図るために、通路を歩く人の動きとともに画面が変化する一種のだまし絵的効果を意図した。

A面：安藤広重作

東海道五十三次「四日市の図」

B面：歌川國貞作「蜃気楼の図」

これらを四日市萬古焼きの伝統技法により焼成。

高さ2.5メートル 幅5.0メートル

制作：萬古環境造形体

V. 執務日誌抄

8. 4. 1	辞令交付
11	博物館・文化会館事業調整会議 (特別展・調査研究・講演会 *シンポジウム)
	古文書教室
12	視察：東海4県収入役会
14	企画展「第34回朝日陶芸展」閉幕
15	貸館：あそん映画会（講座室）
18	日本博物館協会近畿支部役員館会議 校園長会
19	ボランティア正式登録説明会
20	企画展「館蔵品展」閉幕→5月12日まで 視察：天津市夫人連合会 月例土曜講演会
21	「県民の日」無料化デー 「宇宙ビデオ」公開 企画展「館蔵品展」列品解説
22	真西寺調査（1次調査）
23	ハイビジョン共同制作会議（東京）
24	蓮證寺調査（1次調査）
25	教育委員会 古文書教室 古文書解説ボランティア 照恩寺調査（1次調査）
26	街区委員会 法徳寺調査（1次調査） 北勢公設市場視察 星空CDコンサート
27	子供天文教室
28	天体写真講習会
5. 1	日本プラネタリウム協会 中部ブロック研修会（名古屋） 和風会生け花染色展(1Fエント ラントホール)→7日まで
2	プラネタリウム特別投映
3	企画展「公害の歴史」展打合せ（大垣）
7	企画展「公害の歴史」展打合せ（大阪）
8	長明寺調査（1次調査）
9	幼稚園長会 天文事業打合せ（津） 三光寺調査（1次調査）
10	四日市地区「海の祭典」推進委員会 古文書実習 田村寺調査（1次調査）
11	子供天文教室
12	企画展「館蔵品展」閉幕
13	企画展「公害の歴史」展 *「海の祭典」打合せ（津）

14	貸館：あそん映画会（講座室） 博物館教室「壬申紀を読む」
15	保育園長会
16	古文書教室
17	特別展「神宝の美」調査（伊勢） 貸館：墨友会「書道展」開幕 (特別展示室)→19日まで
18	企画展「公害の歴史」調査（横浜） 月例土曜講演会 親子星空教室
19	「参宮道を歩こう」説明会
20	日本博物館協会総会（東京）
21	街区委員会
22	UNEP写真展打合せ 観音寺調査（1次調査）
23	UNEP写真展打合せ 資料調査（九鬼家） 古文書教室
24	西光寺調査（1次調査） 古文書実習 星空CDコンサート
25	貸館：歴史ゼミナール四日市 (講座室)
26	資料寄贈感謝状贈呈（西山町鎌井氏）
27	宝性寺調査（1次調査）
28	ハイビジョン共同制作調査 (西表島)→6月1日まで
	企画展「公害の歴史」打合せ（名古屋） 博物館教室「壬申紀を読む」
	視察：三重県秘書課ほか
29	市史編さん室資料委員会 教育委員会 観音寺調査（1次調査）
30	古文書教室 視察：松戸市議会報編集委員会
31	持光寺調査（1次調査） 企画展「公害の歴史」調査（大津） 特別展「神宝の美」打合せ（伊勢）
6. 4	日本博物館協会近畿支部役員館会議 視察：婦人会連絡協議会
5	特別展「神宝の美」調査（西尾市）
6	貸館：UNEP写真展→16日まで
8	視察：三重県秘書課 子供天文教室
10	視察：宮内庁・三重県秘書課 貸館：あそん映画会（講座室）
11	特別展「神宝の美」調査（伊勢） 博物館教室「壬申紀を読む」
12	専照寺調査（1次調査）
13	古文書教室
14	資料調査（大阪） 古文書実習
15	星空CDコンサート 月例土曜講演会
17	敬福寺調査（1次調査）

18	天文ボランティア講座	14	天文ボランティア養成講座
19	9年度特別展「重源展」調査（大山田村）	15	西光寺調査（1次調査）
	円覚寺調査（1次調査）		貸館：あそん映画会（講座室）
	貸館：全国公立幼稚園長会（講座室）		視察：所沢市議会
20	秋篠の宮両殿下お成り打合せ（津）	16	視察：三重地区市民センター
	古文書教室	17	仙養寺調査（1次調査）
	ボランティア企画展事前研修会	18	視察：松本市議会
	視察：全国公立幼稚園長会	19	淨蓮寺調査（1次調査）
21	企画展「公害の歴史」閉幕 → 6月21日まで	20	“きらら号”稼動開始 「海の祭典」展示・下水道部展示 → 8月4日まで
	少林寺調査（1次調査）		月例土曜講演会
	9年度特別展「重源展」調査（津）	21	篠の宮両殿下お成り
	視察：全国公立幼稚園長会		企画展「公害の歴史」閉幕
23	「参宮道を歩こう」		きらら号（星の広場）
	企画展「公害の歴史」講演会	22	プラネタリウム幼児番組投映→26日まで
24	大樹寺調査（1次調査）	23	博物館教室「壬申紀を読む」
	特別展「神宝の美」調査（伊勢）		博物館実習→26日まで
	日本博物館協会支部長会（東京）	24	1Fのみ臨時開館（海の祭典展示）
	街区委員会	25	きらら号（八千代台）
	全国博物館館長会議（東京）		教育委員会
	博物館教室「壬申紀を読む」		古文書教室
	視察：三重県広報課	26	きらら号（陶栄町）
26	行円寺調査（1次調査）		街区委員会
27	古文書教室	27	ボランティア事前研修会 星空CDコンサート
	9年度特別展「重源展」調査（名古屋）		きらら号（橋北）
28	古文書実習		企画展「ロンドンからくり工房展」
29	特別展「神宝の美」調査（西尾）		開幕→ 9月16日まで
7. 1	移動天文車“きらら号” オープニング記念式典		貸館：歴史ゼミナール四日市（講座室）
2	プラネタリウム番組検討委員会		ボランティア研修会
	視察：豊田市公平委員会		「参宮道を歩こう」
	尾鷲市議会教育民生委員会	28	きらら号（幸町）
3	9年度「わが家の愛蔵品展」調査 (豊田)	29	きらら号（小鹿ヶ丘町）
	資料調査（大阪）		善導寺調査（1次調査）
	9年度特別展「重源展」調査（奈良）		プラネタリウム幼児番組投映 → 8月2日まで
	視察：宮城県矢本町議会	30	淨恍寺調査（1次調査）
4	移動天文車“きらら号”申込み説明 会&記念講演会（総合会館8F）		視察：三鷹市教育委員会
	9年度「わが家の愛蔵品展」調査 (安城)	8. 1	視察：所沢市議会
	古文書教室	2	きらら号（星の広場）
5	三重県博物館協会総会（斎宮）	3	プラネタリウム特別投映
6	星空生演奏コンサート	4	きらら号（三重団地）
7	企画展「公害の歴史」講演会	5	子供天文教室
	星空生演奏コンサート	6	きらら号（博物館前市民公園）
9	博物館教室「壬申紀を読む」	7	天文講演会
	N T T懇話会	8	きらら号（博物館前市民公園）
	資料調査（市内）	9	親子星空教室
	特別展「神宝の美」調査（津）	10	きらら号（小山田）
10	常延寺調査（1次調査）		古文書教室
11	秋篠の宮両殿下お成り打合せ（津）		きらら号（川島）
12	古文書教室		古文書実習
	光念寺調査（1次調査）		高校生天文教室
13	子供天文教室		きらら号（星の広場）
			子供天文教室

11	きらら号（中央小学校） 天文ボランティア講座 天体写真撮影講習会 きらら号（神前）	12	三重県移動博物館協議（多気町） 顕正寺調査（1次調査） きらら号（四日市高校）
12	貸館：あそん映画会（講座室）	13	古文書実習 光善寺調査（1次調査） 星空CDコンサート
13	企画展「ボローニャ国際絵本原画展」 調査（東京）	14	日本博物館協会近畿支部総会協議（御在所） 子供天文教室
16	きらら号（生桑）	15	貸館：みえアートカレッジ'96（講座室）
17	月例土曜講演会 きらら号（寺方）	16	貸館：みえアートカレッジ'96（講座室）
18	きらら号（海蔵）	17	企画展「ロンドンからくり工房展」閉幕 曉覚寺調査（1次調査）
19	プラネタリウム幼児番組投映 →8月23日まで 資料調査（津）	18	貸館：みえアートカレッジ'96 (特別展示室) →24日まで
20	プラネタリウム関連調査（天川村）	19	きらら号点検→20日まで
21	特別展「神宝の美」調査（伊勢）	20	光輪寺調査（1次調査）
22	企画展「生命展」調査（豊橋） 教育委員会 古文書教室 資料調査（奈良）	21	月例土曜講演会
	天体観望会 きらら号（塩浜）	22	「参宮道を歩こう」 きらら号（貝家）
23	古文書実習 星空CDコンサート きらら号（北部児童館）	24	9年度特別展「天津の歴史と文化」 協議（天津）→28日
24	きらら号（三重地区）	25	視察：山形市議会
25	きらら号（あさけプラザ）	26	街区委員会 5都市文化ネットワーク会議
26	防災査察 ASC '96（館林） プラネタリウム幼児番組投映 →8月30日まで	27	きらら号（波木） 古文書実習 9年度特別展「重源展」調査（小野） →28日まで
27	貸館：三重県センター博物館（仮称） 説明会（講座室）	28	星空CDコンサート 貸館：歴史ゼミナール四日市市 (講座室)
29	街区委員会 古文書教室	29	きらら号（笛川） 貸館：中部松下（講座室）
30	きらら号（桜新町）	30	みえアートカレッジ'96（講座室） 特別展「神宝の美」開幕（正午～） 海善寺調査（1次調査）
31	子供天文教室 貸館：四日市市文化振興財団講演会 (講座室) きらら号（下野）	10. 3	東海三県博物館協会研修会（瀬戸） →4日まで
9. 1	「参宮道を歩こう」 9年度特別展「天津の歴史と文化」 協議（天津）→6日まで きらら号（笛川）		遠生寺調査（1次調査） 古文書教室
4	9年度特別展「重源展」調査（奈良） →5日まで	4	プラネタリウム番組検討委員会 きらら号（星の広場）
5	企画展「第34回朝日陶芸展」会議 (名古屋) きらら号（別名）	5	貸館：橋北地区市民センター (ボランティア講演)
6	きらら号（泊山）	6	きらら号（三重西小学校） 特別展「神宝の美」講演会
7	きらら号（あかつき学園校庭）	8	きらら号（大沢台） 第1回博物館協議会
8	ボランティア事前研修会 天文講座	9	博物館教室「柳田国男を読む」 貸館：高校生天文の会（講座室）
10	ボランティア事前研修会	10	きらら号（笛川） 古文書教室
11	安性寺調査（1次調査）	11	9年度特別展「重源展」調査（京都） きらら号（橋北）

12	子供天文教室 貸館：みえアートカレッジ'96（講座室）	16	月例土曜講演会 きらら号（けやき台）
13	貸館：みえアートカレッジ'96（講座室） 天文ボランティア講座 きらら号（川島）	17	ボランティア懇談会 しし座流星群観望会（星の広場）
14	貸館：あそん映画会（講座室）	19	きらら号（桜運動広場）
16	光徳寺調査（1次調査） きらら号（北部児童館）	20	博物館教室「柳田国男を読む」
17	古文書教室 きらら号（八郷）	21	ボランティア事前研修会 きらら号（小古曽）
18	視察：東海市長会 林正寺調査（1次調査） きらら号（博物館前市民公園）	22	企画展「'96イタリア・ボローニャ 国際絵本原画展」開幕
19	貸館：みえアートカレッジ'96（講座室） 天文教育普及研究会 月例土曜講演会 きらら号（星の広場）	23	視察：北勢社会教育主事研修会 きらら号（大沢台）
20	特別展「神宝の美」講演会 金剛寺調査（1次調査）	24	星空CDコンサート 星空CDコンサート
21	博物館教室「柳田国男を読む」	25	視察：都市計画課 きらら号（羽津北小学校）
22	日本博物館協会近畿支部第2回役員 館会議および総会 視察：鳥栖市議会 きらら号（博物館前市民公園）	26	貸館：歴史ゼミナール四日市（講座室） 企画展「'96イタリア・ボローニャ 国際絵本原画展」関連
23	日本博物館協会近畿支部施設視察 (日本カモシカセンター)	27	おもしろトーク「絵本のおはなし」 きらら号（貝家）
24	古文書教室 視察：佐伯市議会 真教寺調査（1次調査）	28	視察：津地方裁判所 石川県収入役会
25	星空CDコンサート 資料修理（多治見） 9年度特別展「重源展」調査（奈良・京都） きらら号（三重県ふれあい農園）	29	9年度企画展「郷愁の四日市祭」 調査（大阪）
26	きらら号（星の広場）	30	信光寺調査（1次調査）
27	貸館：第3回自然フォーラム（講座室） きらら号（富州原）	12. 1	教育委員会 9年度特別展「重源展」調査（奈良） 常徳寺調査（1次調査）
28	欣淨寺調査（1次調査）	2	街区委員会 古文書実習
30	大日寺調査（1次調査）	3	智玄寺調査（1次調査）
31	觀音寺調査（1次調査） 視察：13市収入役室事務研修会 きらら号（星の広場）	4	視察：総務庁人事局 きらら号（水沢）
11. 1	開館3周年記念講演会（じばさん三重6F） 市民天体写真展開幕（1Fエント ラントホール）→30日まで きらら号（大沢台）	12. 1	企画展「'96イタリア・ボローニャ 国際絵本原画展」関連
2	きらら号（三重地区）	2	ワークショップ「とびだすカードを つくろう」
10	9年度特別展「重源展」調査（大山田村） 連続天文講座 きらら号（堀木）	3	視察：京都府埋蔵文化財調査研究センター きらら号（大谷台）
11	特別展「神宝の美」閉幕 貸館：あそん映画会（講座室）	4	貸館：あそん映画会（講座室） 蓮生寺調査（1次調査）
13	定期監査 資料調査委員会 きらら号（星の広場）	5	視察：美濃加茂市教育委員会 9年度特別展「重源展」調査 (大山田村)
15	貸館：環境セミナー（講座室）	6	きらら号（大沢台） 三重博物館協会研修（滋賀）
		7	きらら号（西浦） 滋賀県立陶芸の森資料返却
		8	きらら号（波木） 法童寺調査（1次調査）
		9	連続天文係講座 きらら号（昌栄町）
		10	きらら号（泊山） 古文書実習
		11	きらら号（北部児童館）
		13	

14	子供天文教室 きらら号（三滝武道館）		25	貸館：歴史ゼミナール四日市（講座室）
15	企画展「'96イタリア・ボローニャ 国際絵本原画展」最終日 きらら号（堀木）		26	企画展「第34回朝日陶芸展」閉幕 新市長来館
16	収蔵庫燻蒸→19日まで		27	教育委員会
17	臨時休館日 ボランティア研修会（伊勢）		29	資料調査（京都）
18	指導者研究協議会（国立歴史民俗 博物館）→19日まで		30	資料調査（京都） 日本博物館協会研修会（滋賀） →31日まで
19	教育委員会 きらら号保守点検			9年度特別展「重源展」調査 (奈良・京都)→31日まで
20	ボランティア事前研修会 視察：川口市議会 きらら号（八郷）			視察：札幌市
21	企画展「第34回朝日陶芸展」開幕 →1月26日まで		2. 1	きらら号（海蔵）
	月例土曜講演会 プラネタリウム生演奏コンサート きらら号（高見台）		4	「北勢高等学校美術展」開幕 →11日まで
22	プラネタリウム特別投映 きらら号（桜運動公園）		5	博物館教室「飛鳥時代を掘る」
23	星空CDコンサート		6	同和問題職場研修
24	星空CDコンサート 視察：地球環境戦略研究機関調査団		7	観音寺調査（2次調査）
27	仕事納め 文化庁巡回展調査（東京）		6	ハイビジョン会議（東京）
	古文書実習		7	金剛寺調査（2次調査）
29	年末年始休館日→1月3日まで		8	ハイビジョン会議（東京）→7日まで
1. 6	仕事始め 博物館教室「飛鳥時代を掘る」		9	資料保存活用研究会議（津）
7	プラネタリウム番組検討委員会 きらら号（海山道）		10	きらら号（三滝武道館）
9	古文書実習 きらら号（小古曽）		11	子供天文係教室
10	子供天文教室 きらら号（大沢台）		12	貸館：あそん映画会（講座室）
11	連続天文教室 きらら号（南納屋）		13	資料調査（東京）
12	貸館：あそん映画会（講座室） 16:00～ミュージックプラネタリウム →21日まで		13	貸館：四日市市教育委員会文化課「発掘展」 (1F エントランスホール)→3月4日まで
13	きらら号（桜花台）		14	大樹寺調査（2次調査）
15	月例土曜講演会		14	古文書実習
16	天文講演会 資料委員会		15	プラネタリウム生演奏コンサート
18	博物館教室「飛鳥時代を掘る」		16	視察：熊本市教育委員会
19	資料調査（多治見）		18	事業調整会議（東京）
20	視察：市選挙管理委員会		19	月例土曜講演会
21	消防查察（文化財防火デー）		20	資料調査（大阪）
22	古文書実習 星空CDコンサート		21	天文ボランティア講座
23	日本博物館協会研修会（茨城） →25日まで		22	博物館教室「飛鳥時代を掘る」
24	9年度特別展「重源展」調査（奈良）		23	展示室燻蒸
			24	仙養寺調査（2次調査）
			25	社会教育委員会
			26	専照寺調査（2次調査）
			27	視察：大分市教育委員会
			28	企画展調査（桑名）
				社会教育委員会
				星空CDコンサート
				視察：富士市立博物館
				23 視察：米沢市
				24 企画展調査（佐倉）
				25 先進館調査（東京・埼玉）→26日まで
				26 海善寺調査（2次調査）
				27 9年度特別展「重源展」調査（京都）
				第2回博物館協議会
				街区委員会
				博物館指導者研修協議会
				（美術部門：石川）→28日まで
				古文書実習

	先進館調査（京都）
3. 1	9年度特別展「重源展」調査（山口） → 2日まで
3	企画展調査（大阪）
4	博物館教室「飛鳥時代を掘る」
	先進館調査（守口）
5	宝性寺調査（2次調査）
6	先進館調査（広島） 9年度特別展「重源展」調査（大山田村）
	個別研究調査（大府）
7	個別研究調査（久居）
	資料調査（伊勢）
8	企画展「ふるさとの絵図～失われた景観 を求めて～」開幕→4月13日まで
	子供天文教室
	ボランティア事前研修会
	個別研究調査（久居）
9	天文ボランティア講座
10	教育委員会（臨時） 貸館：あそん映画会（講座室）
	個別研究調査（久居）
11	観音寺調査（2次調査）
	企画展調査（広島）
12	企画展調査（東京）→13日まで
13	日本博物館協会近畿支部第3回役員館会議
	観音寺調査（2次調査）
14	教育民生委員会 古文書実習
	観音寺調査（2次調査）
	天文ボランティア会議
15	月例土曜講演会
17	教育民生委員会 先進館調査（大阪）
18	資料調査（岡崎） 博物館教室「飛鳥時代を掘る」
21	星空CDコンサート
22	貸館：歴史ゼミナール四日市（講座室）
24	資料調査（東京）
25	資料調査（佐倉） 先進館調査（姫路）
	大日寺調査（第2次）
26	教育委員会 NTT懇話会
	個別調査（岡崎）
27	彗星（ハール・ポップ彗星）観望会 (桜運動公園)
28	古文書実習 個別調査（西尾）
	9年度特別展「重源展」調査（山口） →29日まで
	視察：吳市議会
30	企画展「ふるさとの絵図～失われた景観 を求めて～」講演会
31	プラネタリウム番組検討委員会 視察：亀岡市議会

—— 平成 8 年度 ——
四日市市立博物館年報 第 4 号

平成 9 年 7 月 31 日 発行

編集・発行 四日市市立博物館

〒510 四日市市安島一丁目 3 番 16 号

TEL 0593-55-2700 (代)

FAX 0593-55-2704

印 刷 東海出版有限会社

